

第二十六回 帝國議會 貴族院議事速記録第十八號

明治四十三年三月二十二日(火曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第十八號 明治四十三年三月二十二日

午前十時開議

- 第一 明治四十二年歳入歳出總豫算追加案(第四號)審査期限ヲ定ムルノ件
- 第二 明治四十三年歳入歳出總豫算追加案(第四號)審査期限ヲ定ムルノ件
- 第三 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第四號)審査期限ヲ定ムルノ件
- 第四 關稅定率法改正法律案兩院協議會成案 會議(兩院協議會) 第一讀會
- 第五 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第六 明治四十一年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第七 明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第八 明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第九 明治四十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第十 明治四十一年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第十一 明治四十一年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第十二 東洋殖産株式會社法中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十三 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十四 農工銀行法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)

- 第十五 北海道殖産銀行法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十六 登錄稅法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十七 韓國在勤鐵道院所屬官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十八 電氣事業法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十九 會計検査院法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十 災害地地租特別處分法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十一 明治四十年歳入歳出總決算並明治四十年歳各特別會計歳入歳出總決算 會議(委員長報告)
- 第二十二 行政執行法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十三 豫約出版法案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十四 教員ノ待遇ニ關スル建議案(伯爵德川達孝君外八名發議) 會議
- 第二十五 四國貫通鐵道速成ノ請願 會議
- 第二十六 鹽田地租輕減ノ請願 會議
- 第二十七 內國產粗糖ニ對シ補助金下付ニ關スル請願 會議
- 第二十八 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正ノ請願 會議
- 第二十九 熊本大分間鐵道速成ノ請願 會議
- 第三十 八代鹿兒島間鐵道速成ノ請願 會議
- 第三十一 煙草專賣法中改正ノ請願 會議
- 第三十二 山陰縱貫鐵道速成ノ請願 會議
- 第三十三 地租輕減ノ請願 會議
- 第三十四 小學校教員官設鐵道無賃乘車ノ請願 會議
- 第三十五 關稅免除ノ請願 會議
- 第三十六 室蘭港灣修築ニ關スル請願 會議
- 第三十七 膽振日高金山三鐵道速成ニ關スル請願 會議
- 第三十八 齒科醫學學校設置ニ關スル請願 會議
- 第三十九 鐵道敷設速成ノ請願 會議
- 第四十 衆議院議員選舉法改正ノ請願 會議

第四十一	北海道東南部鐵道完成ニ關スル請願	會	議
第四十二	青森港灣修築ノ請願	會	議
第四十三	飛驒國貫通鐵道速成ノ請願	會	議
第四十四	韓國移民法制定ニ關スル請願	會	議
第四十五	鐵道敷設ノ請願	會	議
第四十六	鐵道速成ノ請願	會	議
第四十七	復族ノ請願	會	議
第四十八	神社祭典ニ關スル請願	會	議
第四十九	鐵道敷設ノ請願	會	議
第五十	區裁判所出張所設備ノ請願	會	議
第五十一	豐肥鐵道速成ニ關スル請願	會	議
第五十二	日豐鐵道速成ニ關スル請願	會	議
第五十三	山陽大嶺支線延長ノ請願	會	議
第五十四	工業原料柞蠶絲輸入免稅ノ請願	會	議
第五十五	官設鐵道敷設ノ請願	會	議
第五十六	郵便局設置ノ請願	會	議
第五十七	種牛場増設ノ請願	會	議
第五十八	關稅定率改正ノ請願	會	議
第五十九	黑澤尻橫手間鐵道速成ノ請願	會	議
第六十	區裁判所出張所設置ニ關スル請願	會	議
第六十一	郵便局設置ノ請願	會	議
第六十二	鐵道敷設ニ關スル請願	會	議
第六十三	大船渡花卷間鐵道速成ノ請願	會	議
第六十四	宅地地價特別修正ノ請願	會	議
第六十五	金山早來間鐵道速成ノ請願	會	議
第六十六	鐵道敷設法ニ關スル請願	會	議
第六十七	亞炭鑛業稅減額ノ請願	會	議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕

去ル十九日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可

決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

營業稅法中改正法律案

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案

罹災救助基金法中改正法律案

東京市區改正條例中改正法律案

製鹽地整理ニ關スル法律案

漁業法改正法律案

銃砲火藥類取締法改正法律案

同日關稅定率法改正法律案兩院協議委員正副議長互選ノ結果左ノ通當選セリ

議長 侯爵黑田 長成君 副議長 子爵曾我 祐準君

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

韓國在勤鐵道院所屬官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵松本 宗隆君 副委員長 男爵尾崎 三良君

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案特別委員會

委員長 男爵波多野 敬直君 副委員長 菊池 武夫君

電氣事業法案特別委員會

委員長 伯爵柳原 義光君 副委員長 淺田 德則君

豫約出版法案特別委員會

委員長 伯爵德川 達孝君 副委員長 男爵辻 新次君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

會計檢查院法中改正法律案可決報告書

韓國在勤鐵道院所屬官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案可決報告書

東洋殖植株式會社法中改正法律案可決報告書

登錄稅法中改正法律案可決報告書

行政執行法中改正法律案可決報告書

電氣事業法案修正報告書

豫約出版法案可決報告書

請願委員會特別報告第六號

請願委員會特別報告第七號

同日決算委員副委員長ヨリ明治四十年度歳入歳出總決算並明治四十年度各特別會計歳入歳出決算審査報告書ヲ提出セリ

同日兩院協議委員議長ヨリ關稅定率法改正法律案兩院協議會成案成立報告書ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第四號)

臺灣銀行法中改正法律案

明治四十一年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十一年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十一年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日衆議院ヨリ明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日衆議院ヨリ明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日衆議院ヨリ明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日衆議院ヨリ明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日衆議院ヨリ明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十年法律第五十二號中改正法律案

明治四十二年法律第三十六號中改正法律案

同日衆議院ヨリ政府提出關稅定率法改正法律案兩院協議會成案ヲ受領セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

○男爵波多野敬直君 是ヨリ外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマス……

○議長(公爵德川家達君) 波多野男爵ヨリ特別委員會へ退席ノ要求ハ許可イタシテ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔男爵波多野敬直君「ソレデハ委員ノ御方ハ……」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第一、明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)審査期限ヲ定ムルノ件、第二、明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)審査期限ヲ定ムルノ件、第三、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第四號)審査期限ヲ定ムルノ件

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

(第四號)明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

(第四號)明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

(追第四號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

○子爵曾我祐準君 此豫算ニ關シマスル三案ハ前キノ諸案ト同様ニ審査期限ハ成ルベク急グト云フダケニ御取決メヲ願ヒマス、最早餘日モ無イコトデアリマスカラ直グニ會ヲ開イテ審査イタシタイト云フ意見デアリマス

○子爵堤功長君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第四、關稅定率法改正法律案、兩院協議會成案、會議、兩院協議委員議長報告、黑田侯爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

關稅定率法改正法律案

右別冊ノ通兩院協議會成案成立セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十九日

關稅定率法改正法律案兩院協議委員議長

貴族院議長公爵德川家達殿

侯爵 黑田 長成

關稅定率法改正法律案兩院協議會成案

第六條ヲ復活シ同條中「六十四錢」ヲ「四十錢」ニ改ム

第六條ヲ第七條ニ改メ同條十七中「第七條」ヲ「第八條」ニ「第八條」ヲ「第九條」ニ改ム

第七條ヲ第八條ニ改メ第八條以下順次繰下ク
輸入稅表中

第二類ハ衆議院議決案ノ通トス

第五類及第六類ハ貴族院議決案ノ通トス

第七類ハ衆議院議決案ノ通トス

〔侯爵黑田長成君演壇ニ登ル〕

○侯爵黑田長成君 關稅定率法改正法律案ノ兩院協議會ノ報告ヲ致シマス、本員ハ第四回議會以來協議委員議長トシテ報告ヲ致シマスルコトハ此度ハ第六回目ニ當リマスガ、就中此問題ハ其中デモ最重要ナルモノ、一ツデアルト存ジマス、去ヌル十九日、協議室ニ於テ雙方十名ヅ、ノ委員ガ殘ラズ出席イタシテ抽籤ニ依リマシテ本員ガ議長席ヲ保ツコトニナリマシタ、ソレヨリ兩院各、院議ノ在ル所ヲ陳述イタシテ、結局雙方ヨリ三名ヅ、ノ小委員ヲ各議長ノ指名ニ依ッテ選定イタシテ、其小委員ガ別室ニ於テ協議ヲ致スコトニナリマシタ、其協議中一時休憩ヲ致シマシタ、ソレカラ小委員ノ交渉ガ纏マリマシテ更ニ開會シテ成案ヲ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、第二類ノ米其他ノモノト第七類ノ藍及其他ノ染料、是ハ衆議院議決案ノ通リトナリマシ

タ、第六條ヲ復活シテ凶作ノ場合ニハ勅令デ期間ヲ定メテ每百斤「六十四錢」トアリマスノヲ、「四十錢」ニ改メテ之ヲ限度トシテ低減スルコトガ出來ル様ニ致シマシタ、ソレデ饑饉ノ如キ大凶作ノ場合ニハ緊急勅令ヲ以テ或ハ無稅ニスルコトモ出來マスルシ、其他輸入獎勵ノ途ヲ圖ルコトモ出來マスルカラ、是デ差支ハ無イト云フコトニ決シマシタ、第五類及第六類、是ハ石鹼及燐寸ノ原料ニ關スルモノデアリマスガ、是ハ貴族院ノ議決ノ通リニナリマシタ、此二ツノモノハ藍ナドヨリハ輸出獎勵ノ點カラ見テモ却ッテ必要ナクラキデアルト思ヒマス、右ノ結果ニ依ッテ第六條ヲ第七條ニ改メ同條十七ノ中「第七條」ト云フノヲ「第八條」ニ「第八條」ヲ「第九條」ニ改メマシテ第七條以下順次ニ條數ヲ繰下グルコトニナリマシタ、是ダケ申シマスレバ容易ニ協議ガ纏マツタヤウニ見エマスケレドモ、實際ハ餘ホド手數ヲ要シタノデアリマス、固ヨリ此案ノ成立ニ付キマシテハ、本院側カラ申セバ委員一致ノ結果デアアルニハ相違ゴザイマセヌガ、之ヲ圓滿ニ且ツ迅速ニ成立セシメマシタノハ、小委員トシテ其任ニ當ラレマシタル所ノ曾我三島兩子爵及田男爵、此三君ガ最モ御盡力ニナツタト云フコトハ、他ノ委員ト共ニ認メマス次第デアリマスルガ、諸君モ共ニソレヲ御認メニナルヤウニ望ミマスル次第デアリマス、其際ハ協議會ヲ延期イタセバ致スホド雙方ノ交渉ガムヅカシサウナ形勢ト察シマシタカラ、斷ジテ延會スルコトハ宜クナイ、速ニ成立ヲ圖ルコトガ最モ適當デアルト存ジマシテ、自ラ責任ヲ有ッテ議場ヘ報告スルコトニ決心イタシタノデアリマス、ソレデ委員諸君モ御同感デアリマシタカラ、更ニ再開シテ立ドコロニ決マリマシタノデゴザイマス、是ダケノ成行ハ有リノ儘ヲ申上ゲテ置キマス、是ハ形式上カラ見マシテモ雙方五分ノ讓歩デアリマスルノミナラズ、實際ニ於テモ其法律ノ適用上差支ナイト認メマス、衆議院ニ於テハ最早協議會ガ終了イタシマシタ同日ニ直チニ可決セラレマシタ、此際若シ本院ガ飽クマデ前議ヲ主張スルト云フコトニナリマシテ、萬一成案ガ不成立ニ終リ、從ッテ法案全部ガ否決ト云フコトニナリマシタナラバ、内治外交ノ上ニ大影響ヲ及ボシマシテ國權ノ消長ニモ關スルト云フコトハ論ヲ俟チマセヌ、明年ノ條約改正ニ先ダチマシテ此法案ヲ可決スルト云フコトハ此際最モ必要デアッテ、此次ノ議會デハ時機ヲ失フト思ヒマス、今日ヲ措イテ決シテ他ニ好機會ハ無イノデアリマス、ソレ故ニ舉ッテ此成案ヲ贊成セラレルコトハ固ク信ジテ疑ヒマセヌ、此段御報告イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、兩院協議會ノ成案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認マス

○子爵曾我祐準君 唯今ヨリ豫算委員會ヲ開キタウゴザイマス、退席ノ許可ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ豫算委員會ヘノ退席ノ要求ハ許可イタシテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵中川久任君 是ヨリ三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス、退席ノ許可ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 中川伯爵ノ特別委員會ニ退席ノ要求モ許可イタシテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五、臺灣銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

臺灣銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十九日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

臺灣銀行法中改正法律案

臺灣銀行法中左ノ通改正ス

第九條第二項中「五百萬圓」ヲ「一千萬圓」ニ改ム

第十三條第四項ヲ削ル

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 此改正案ハ臺灣銀行ガ保證準備ニ依ッテ發行イタシマス銀行券ノ制限ヲ擴張イタシマスコト、竝ニ臺灣銀行ノ重役ニナリマス場合ニ於テ株式ヲ六箇月前カラ持ッテ居ルコトヲ要シマス其六箇月前ヨリ所有スルト云フ條件ヲ除クト云フ、此二點ガ法律改正ノ廉、デアリマス、臺灣ニ於キマシテハ臺灣銀行ガ出來マシテカラ今日マデノ間ニ經濟情況ガ長足ノ進歩ヲ致シマシテ、總督府ノ財政ニシテ見マシテモ、又臺灣島ノ輸出入ニ致シテモ、竝ニ民間ノ會社或ハ會社ノ資本金銀行ノ貸付或ハ預金等ガ、當時ト唯今ト比較ヲ致シマスコト云フト皆何倍ト云フヤウナ發展ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨ッテ臺灣ニ於テハ通貨ヲ要シマスルコトガ段々多クナリマシテ、最近ノ所ニ於テハ年々引續イテ制限以外ノ發行ヲシテ居ルヤウナ情況デアリマスノデ、唯今ノ制限ダケデハ迎モ臺灣ニ使用イタシマス通貨ノ全部ヲ充タスコトガ出來ナイヤウナ情況ニナッテ居リマス、尙ホ將來ヲ見渡シテ見マシテモ、政府ノ事業トシテ鐵道ナリ水利ノコトナリ、或ハ山林ノコト電氣ノコト等、段々事業ガアリマスルシ、又民間ニ於テモ砂糖ノコト鹽ノコト或ハ其他イロ／＼事業ガアリマシテ、益々臺灣デハ經濟界ガ發達シテ行ク情勢デアリマスノデ、此情勢ニ應ジテモ亦通貨ガ自然、今ヨリモ大ニ餘計ノ需要ノアルト云フコトハ想像イタサレルノデアリマス、加フルニ臺灣デハ段々幣制ヲ統一イタシマシテ、唯今デハ銀貨ノ通用ト云フコトハ段々減ズルト云フコトニナッテ居リマスノデ、現ニ殘ッテ居リマス約四百萬圓バカリノ銀貨ガ早晚ハ其通用ガ無クナルコトニナラウト思ヒマス、是等ハ矢張り金貨ヲ土臺ニシテ此臺灣ノ銀行券ノ發行高ヲ多クナラシメナケレバナラヌ事情ノ一ツニナルノデアリマスカラ、是等ノ事柄ヲ考ヘテ見マスト云フト、唯今ノ制限ヲ擴張シナケレバナラスト云フコトハ自ラ御分リニナリマセウト思ヒマス、尙ホ臺灣銀行ハ單リ臺灣ノミナラズ、南清地方、竝ニ南洋ノ方面ニ向ッテモ、追々支店等ヲ出シテ其金融ノ助ケヲ爲ス經畫デアリマス故ニ、是等カラ見マシテモ尙ホ此制限ハ擴張イタシマス必要ガアラウト思ヒマス、ソレガ故ニ今回改正案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、ドウゾ御審議ノ上ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

臺灣銀行法中改正法律案特別委員

伯爵正親町 實正君

德久 恆範君

男爵安場 末喜君

中島 永元君

藤田 四郎君

鮫島 武之助君

高橋 新吉君

五十嵐 敬止君

濱口吉右衛門君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第六、明治四十一年度豫備金支出ノ件、

承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、第七、明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、第八、明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、第九、明治四十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、第十、明治四十一年度清國事件第二豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、第十一、明治四十一年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、朗讀ハ省略シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

明治四十一年度豫備金支出ノ件

明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件

明治四十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治四十一年度清國事件第二豫備金支出ノ件

明治四十一年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十三年三月十九日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス、六件トモ同一委員デ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔太田書記官長朗讀〕

明治四十一年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外五件特別委員

伯爵德川 達孝君

子爵持明院 基哲君

男爵村上 敬次郎君

男爵若王子 文健君

何 禮之君

山田 爲暄君

下條 正雄君

廣海 二三郎君

森 廣三郎君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十二、東洋拓殖株式會社法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、正親町伯爵

東洋拓殖株式會社法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十九日

右特別委員長

伯爵 正親町 實正

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵正親町實正君演壇ニ登ル〕

○伯爵正親町實正君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ハ去ヌル十九日ニ開キマシテ、種々質問モゴザイマシテ、又之ニ對シ政府委員ノ詳細ナル答辯モゴザイマシタ、種々審議ヲ盡シマシタ結果、委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、デ改正ノ理由ヲ申上ゲマヌルガ、本案改正ヲ必要ト致シマスル重モナル要點ハ、今日韓國經濟狀態ニ於キマシテ金融機關ノ甚ダ不十分ノ爲ニ、將來ハ此金融機關ヲ今少シク擴張シテ、將來拓殖事業其他農工商業ノ發達ヲ圖リタイト云フノガ此改正ノ趣意デゴザイマス、ソレデ今日ハ韓國ノ金融機關ハドウ云フコトニナッテ居ルカト申シマス、韓國農工銀行ト云フモノト、ソレカラ其下ニ金融組合ト云フモノガゴザイマシテ、其ニツヨリ成立ッテ居ルノダサウデゴザイマス、勿論此金融組合ト申シマスモノハ甚ダ微々タルモノデ、連モ十分ノ働キハ出來マセヌ、其他ニハ東洋拓殖株式會社法ノ第十一條第七項ニ「拓殖上必要ナル資金ノ供給」ト云フノガゴザイマス、之ニ依ッテ資金ノ供給ヲ圖ルト云フダケデゴザイマス、然ルニ此東洋拓殖會社ノ資金ノ供給ト申シマスモノモ御承知ノ如ク自ラ制限ガゴザイマシテ、唯今ノ所デハ拂込資本額及社債未償還額ノ合計五

分ノ一ヲ超エルコトハ出來ナイト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ今日社債ノ拂込ト申シマスルノハ二百五十萬圓シカゴザイマセスカラ、ソレノ五分ノ一ト云ヘバ五十萬圓シカナイト云フ譯デゴザイマシテ、甚ダソレデハ今日段々韓國ノ狀態カラ見マシテモ金融機關ガ如何ニモ缺乏ヲ告ゲルト云フ有様デアリマスカラ、ソレデ此「五分ノ一」ト云フノヲ「二分ノ一」ト云フコトニ改正ヲシタイト云フノガ最モ此法案ノ骨子デゴザイマス、而シテ其上ニ此會社ノ業務ハ第十三條ニ列記シテゴザイマス五號ニ依ッテ貸付ヲ行ヒマスノデゴザイマス、是等ハ總テ不動産其他ヲ擔保ニ取ッテ貸付ケルト云フコトニナツテ居リマス、然ルニ此度ノ改正案ニ依リマスト之ヲ今少シク擴張マシテ六、七、八ノ三號ヲ加ヘテ無擔保貸付ヲ開始イタシマス譯デアリマス、ソレハ一ツハ「韓國ニ於ケル日韓公共團體ニ對シ二十年以内ノ年賦償還又ハ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル無擔保貸付」ト云フコトデゴザイマス、是ハ我國ニ於キマシテハ農工銀行ノ上ニ御承知ノ如ク勸業銀行ト云フモノガゴザイマシテ大口ノ資金ノ供給、其他農工銀行ヘノ金融機關ニナツテ居リマスガ、韓國ニ於キマシテハ左様ナモノモゴザイマセスガ爲ニ、此度東洋拓殖會社ガ勸業銀行ノヤウナ働キヲシタイト云フノガ此趣意デゴザイマス、ソレカラ其次ニ「移住民及韓國農業者ニシテ二十人以上連帶シテ債務ヲ負フ者ニ對シ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル無擔保貸付」是モ我國ニ於キマシテハ農工銀行、其他北海道拓殖銀行ナドニ比例ガゴザイマス、併ナガラ勸業銀行ニハ此事ハゴザイマセス、ナゼナレバ先刻申上デマシタ如ク勸業銀行ト云フモノハ農工銀行ノ先ヅ親銀行デ主トシテ大口ノ貸付ヲ爲ス所デゴザイマス、斯ル小サイモノハ總テ農工銀行ニ任セテゴザイマス、韓國ニ於キマシテハ少シク内地ノ狀態ト異ナリマス爲ニ此農工銀行ノ仕事モ矢張り兼テスルヤウナコトニ致サスト大變差支ヲ生ジマスノダサウデゴザイマス、ソレユエ此條項ヲ加ヘマシタ、其次ハ農工銀行ノ債券ノ引受デ、是モ矢張り日本勸業銀行デ行ウテ居ルコトデアリマスカラ農工銀行ノ發行スル農工債券ノ引受、此三ツノ號ヲ加ヘマシテ金融機關ノ充實ヲ圖ルト云フノデゴザイマス、ソレカラ第四條……前ニ戻リマスケレドモ第四條ノ二ノ東洋拓殖會社ノ定款變更ノ規定デゴザイマスガ、是ハ普通商法ノ規定ニ依リマスレバ、總株主ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル株主ガ出席シナケレバ議決權ヲ行フコトガ出來ヌト云フコトニナツテ居リマスガ、然ルニ此東洋拓殖會社ノ株主ト云フモノハ、誠ニ小サ

イ株主ガ多數デゴザイマシテ、株主ノ數ト云フモノハ非常ナ數デアツテ、而シテ日韓兩國ニ跨ッテ居ル譯デアリマスカラ、日本ニ於テ總會ヲ開クニシテモ、韓國ニ於テ總會ヲ開クニシテモ、何レニシテモ株主ノアチコチニ參ルト云フコトハ誠ニ不便ナコトデアリマスカラシテ、ソレデ此法案ニ於キマシテハ資本ノ半額以上ニ當ル株主ガ出席シテ、ソレデ總會ヲ開イテ差支ナイト云フコトニ改正ニナリマシタ、是ハ南滿洲鐵道會社ノ方ニモ此例ハ開カレテアルサウデアリマス、其例ニ依ッテ此改正ニナリマシタ、ソレカラ第二十一條中ノ「又ハ」ト云フ字ノ下ニ「政府若ハ」ト云フ字ヲ加ヘマスノデアリマスガ、是ハ營業上ノ餘裕金ハ一時國債證券ヲ買入レ又ハ政府ノ指定シタル銀行ニ預ケ金ヲ爲スノ外之ヲ使用スルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ現在政府ノ指定シタル銀行ニ預ケナケレバナラス、此外ニハ出來ナイト云フ所ヲ「政府若ハ政府ノ指定シタル銀行」ト云フコトニナリマスノデ、此政府ト申シマスモノハ即チ預金部デアリマシテ、是ハ將來若シ此會社ガ外債ナドヲ起シマシテ一時其金ノ出來マシタ場合ニ於キマシテ國ノ正貨準備等ノ爲ニ必要ナ場合ニ預金部ニ預入レテ置クト云フ趣意デ「政府」ト云フコトガ這入リマシタ、ソレカラ第四十九條ニ「但シ第九條ノ任期滿了後最近ノ定時株主總會會日迄留任スルコトヲ得」ト云フコトガ加ハリマシタ、是ハ御承知ノ如ク東洋拓殖會社ノ重役ハ先年創立ノ際ニハ極年末ニ任命ニナリマシタ、トコロガ此會社ノ總會ハ年々五月ニ開クコトニナツテ居リマスガ故ニ、最初更任ノ場合ハ其間ハ少シ四五箇月ノ間ガ明キマスノデ、ソレユエ其際臨時總會ヲ開ク等モ甚ダ手數ナコトデアリマスカラ、最初ノ更任ノ場合ニ於キマシテハ任期ガ切レテモ其次ノ總會ヲ開クマデ其儘留任シテモ差支ナイト云フ便法ヲ加ヘタノデアリマス、大體ノ趣意ハ今申上デタ通りデゴザイマス、誠ニ此法案ハ唯今申上ゲル通り將來韓國ノ金融機關發展ノ上ニハ已ムベカラザルモノデアラウト云フコトヲ委員會デモ認メマシテ全會一致ヲ以テ可決イタシタ次第デゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス、尙ホ終リニ臨ミマシテ最早會期モ切迫イタシテ居ル次第デアリマスシ、且ツ御異議モ無イ上ハ讀會省略ヲ以テ速ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 讀會省略ニ贊成

○伯爵寺島誠一郎君 贊成

○伯爵大原重朝君 贊成

○男爵北島齊孝君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○男爵周布公平君 賛成

○中島永元君 賛成

○岩村兼善君 賛成

○子爵山本實庸君 賛成

○子爵裏松良光君 讀會省略ニ賛成

○議長(公爵德川家達君) 正親町伯爵ノ讀會省略ノ動議ハ定規ノ賛成者ガゾ
イマシタ、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十三、日本勸業銀行法中改正法律案、
政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、第十四、農工銀行法中改正法律案、
政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、第十五、北海道拓殖銀行法中改正法
律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

日本勸業銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十八日

右特別委員副委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

農工銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十八日

右特別委員副委員長

貴族院議長公爵德川家達殿

伯爵 寺島誠一郎

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十八日

右特別委員副委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

「伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル」

○伯爵寺島誠一郎君 議事日程第十三、第十四、第十五ニ上ボリマシタ御報
告ヲ申上ゲマス、併セテ申上ゲマス、委員會ニ於キマシテハ此三案提出ノ理由
ノ説明、竝ニ衆議院ニ於テ農工銀行法中改正法律案ト北海道拓殖銀行法中改
正法律案ノ修正ニ對シマスル意見、是等ヲ政府ヨリ聽キマシテ、又委員ヨリ
幾多ノ質問ニ對シマスル政府ノ答辯モ伺ヒマシテ、鄭重ナル審査ヲ致シテ、
其上デ悉ク可決スベキモノト致シタノデアリマス、是ヨリ其重モナル理由ノ
一斑ヲ御報告イタシマス、現在ノ經濟組織デハ水産事業ニ金融ヲ致シマス機
關ガ無イノデアリマス、水産銀行ヲ起シテハドウカト云フ議論モアリマスル
ガ、其營業ノ性質カラ見マシテ危險ガ少ナクナイト云フコトデ、果シテ其事
ガ出來上ガルデアラウカ、ドウカ、是ハ難問題デ隨分議論ノアルコトデゴザ
イマス、併ナガラ我國ハ四方、海ヲ以テ圍マレテ居ル海國デアリマシテ、水
産事業ト申シマスルハ誠ニ重要ナ事業デアリマス、有望ナル事業デナクテ
ハナラヌノデアリマス、而シテ又之ヲ發達セシムル爲ニハ十分ノ援助ヲ與フ
ルト云フ覺悟デシナケレバナラヌノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ過
般、漁業法ヲ改正イタシマシテ漁業權ト云フモノヲ御認メニナツタノデアリ
マスル、漁業權ヲ認メテ物權ト同一視シテ、之ニ對シテ抵當等ニシテ資金ヲ
仰グコトガ出來ルヤウニナツタノデアリマス、一方ニ於テハ漁業權ト云フモ
ノガ出來マシタ、併ナガラ他方ニ於テハ此水産事業ニ金融ヲスル機關ヲ設立
スルコトガ困難デアルト云フノデアリマスレバ、自然是マデ出來テ居ル所ノ
銀行、既設ノ銀行ノ中デ適當ナルモノヲ以テ水産事業ニ放資セシメルヤウニ
仕向ケテ行カケレバナラヌノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、ドノ

銀行ガソレデハ宜カラウカト云フノデ、段々ト考ヘテ見ラレタ所ガ、長期ノ貸出ヲシテ居ル銀行ヲ選ンダガ宜カラウト云フノデ、之ヲ勸業銀行、農工銀行、竝ニ拓殖銀行ノ三ツヲ選ンダノデアリマス、此銀行法ヲ改正イタシマシテ是等ノ漁業權ニ對スル貸付ヲ爲スコトヲ得ルヤウニシタノデアリマス、チヨット此貸付ニ付イテ申上ゲテ置キマスルガ、是等ノ銀行ハ義務トシテ漁業權ニ對シテ抵當ヲ取ツテ貸付ヲスルコトニナリマスルト、比較的不安心ナルモノガ抵當ニナリマスルカラシテ、其際、添擔保デ不動産又ハ有價證券ヲ徵スルコトヲ得ルト云フコトガ附加ヘテアルノデアリマス、ソレハ本案ヲ御覽ニナリマスレバ直グ分ルコトデアリマス、第二ニ申上ゲマスルコトハ是等ノ三銀行ト産業組合又ハ漁業組合トノ聯絡ヲ密接ナラシメタコトデアリマス、御承知ノ通り農工銀行トソレカラ北海道拓殖銀行トノ此二ツハ、産業組合トノ關係ハ今日マデ付イテ居ルノデアリマス、即チ其組合ニ對シテ貸付ヲスルコトガ出來ルコトニナツテ居ルノデアリマス、此際、勸業銀行ヲ加ヘテ三銀行共ニ産業組合若クハ今度更ニ漁業組合ト云フモノヲ加ヘマシテ、是等ニ直接ノ聯絡ヲ付ケ關係ヲ益、密接ナラシムルコトヲ圖ッタノデアリマス、至ッテ當然ナコト、我々ハ思ヒマシタ、第三ニ申シマスルコトハ勸業銀行竝ニ農工銀行ニ於テ預金ヲナスコトノ規定ヲ拵ヘタコトデアリマス、即チ産業組合、漁業組合ニ金ガ餘ッテ居ッタトキニハ……金ノ無イトキハ三銀行カラ借リルノデアリガ、金ノ餘ッタトキニハ勸業銀行、農工銀行ニ預金ヲスルコトガ出來ルヤウニ今度、案ニ規定シタノデアリマス、勸業銀行ノ方ハ今日マデ預金ト云フモノハ絶對ニ出來ナカッタノデアリマス、御承知ノ通り債券ト云フモノヲ發行イタシマシテ零碎ノ資金ヲ集メテ之ヲ長期ノ貸付ヲスル資金ニシタノデアリマス、併ナガラ今度ノ改正ニ際シマシテ、資金ヲ益、潤澤ニシテ銀行ノ任務ヲ尙ホ一層適切ニ盡サセルト云フコトヲ目的ニシテ預金ヲ取ルコトニシタノデアリマス、其預金ノ種類ハ定期、當座ノ兩方ヲ取ルコトニシタノデアリマス、併ナガラ此勸業銀行ト云フ銀行ノ特殊ノ性質ニ鑑ミマシテ大抵取ルベキ所ノ預金ノ高ヲ制限シテアリマス、其制限シテアルノハ如何ニ制限シテアルカト云フト、拂込資本金額ヲ超過スルコトガ出來ヌト、斯ウ云フコトニ制限シテアルカラ、是ガ適切デ宜イト我々考ヘタノデアリマス、次ニ農工銀行ノ方ハドウデアアルカト云フト、是ハ以前ヨリ定期ノ預金ダケハ取レルコトニナツテ居ッタノデアリマス、此際改正ヲ致シマシテ、當座預金ヲ取ル

コトニナツテ、資金ヲ潤澤ニシテ銀行ノ任務ヲ一層適切ニサセルト云フコトデアリマス、政府ノ原案デハ勸業銀行ノ方ト能ク竝行サシテ行クヤウニ、定期當座共ニ合セタモノニ制限ヲ加ヘテ拂込資金ニ超過スルコトヲ得ズトシテアッタノデアリマスガ、衆議院デハ之ヲ修正シマシテ、農工銀行ハ以前カラシテ定期預金ハ無制限ニ取ツテ居ル、今之ヲ改メルニ付イテ定期ニ制限ヲ付ケルコトハ宜シクナイト云フコトデ削除シタノデアリマス、政府ニ於キマシテハ元ノ定期ノ無制限ニ戻ルコトデアアルカラシテ、政府モ格別異存ハ無イト云フコトデ承知シテ居ルト云フコトデアリマス、我々モ之ヲ調ベマシテ、サホド不都合ハ無イト云フコトヲ認メタノデアリマス、第四ニハ勸業銀行竝ニ農工銀行ニ於キマシテ預金又ハ餘裕金等ハ如何ナル方法ヲ以テ使用スルカト云フコトヲ今度ノ改正デ規定シテアルノデアリマス、是ハ十分ニ銀行ニ補助ヲ與ヘルト云フ趣意ヲ以テシテアルカラ我々ニ異存ナイノデアリマス、第五ニハ北海道拓殖銀行ノ方デ是ハ耕地整理組合ト云フモノトノ關係ヲ規定シタ條項ヲ加ヘタノデアリマス、是ハ衆議院ニ於テ目下ノ急務トスル程ノコトデナイカラシテ又必要ニ迫ッテ改訂シテ宜イデハナイカ、今度ノ所ハ之ヲ削ッテ置クト云フコトデ以テ削除シタノデアリマシテ、我々ハ之ニ對シテ異論ハ無イ、政府ニ於テモ異存ガ無イト言ッテ居ルノデアリマス、其他ノ點ニ付キマシテハ衆議院ノ修正ニ伴ウテ起ル所ノ自然字句ノ修正ト云フノデアリマシテ異存ガアル筈ハ無イノデアリマス、是等ノ理由ヲ以チマシテ委員會ニ於テハ此三案共ニ第一ノ日本勸業銀行法中改正法律案ハ政府ノ原案通り、是ハ衆議院ニ於テ修正シナカッタモノデアリマス、其他ノ二案ニ付キマシテハ衆議院ノ修正シタ通り我々ハ可決シタノデアリマス、チヨット御報告イタシテ置キマス、先ヅ一應ハ其理由ヲ申上ゲタノデゴザイマスル、御質問ガアレバ格別デアリマスガ、御質問ガ無イヤウデゴザイマスレバ讀會省略ヲ以テ直チニ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

○男爵周布公平君 讀會省略ニ賛成

○子爵實吉安純君 讀會省略賛成

○子爵山口弘達君 讀會省略賛成

○男爵徳川厚君 讀會省略賛成

○岩村兼善君 賛成

○伯爵松本宗隆君 讀會省略賛成

○伯爵大原重朝君 讀會省略賛成

○下條正雄君 讀會省略賛成

○千坂高雅君 讀會省略賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 寺島伯爵ノ三案トモ讀會ヲ省略スルト云フ動議ニハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、寺島伯爵ノ動議ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 三案トモ副委員長ノ報告通リデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十六、登錄稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、下條君

登錄稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十九日

右特別委員長

下條 正雄

貴族院議長公爵德川家達殿

〔下條正雄君演壇ニ登ル〕

○下條正雄君 唯今問題トナッテ居リマスル登錄稅法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、此登錄稅法中改正法律案ハ本月十七日ニ正副委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ直チニ委員會ヲ開クベキ積リデアリマシタガ、此案ニ付イテ最モ關係ヲ有スル漁業法改正法律案ノ決定ヲ待チマセヌケレバ差支ヘマスルデ、十九日マデ待チマシテ十九日ニ委員會ヲ開イタ次第デゴザイマス、先ヅ以テ委員會ハ政府ニ法案ノ改正ノ理由ノ説明ヲ承リマシテ、委員ヨリ多少質問モゴザイマシタ、又ソレノ討議ヲ盡シマシタ上、委員會ハ

全會一致ヲ以テ原案通り可決イタシタ次第アリマス、其大要ハ政府案ノ理由書ニモアル通り、今回輕便鐵道法ノ制定、竝ニ漁業法、著作權法ノ改正ニ伴ヒマシテ其結果、登錄稅法中ニ改正ノ必要ヲ生ジタル次第アリマス、又質問中二三ノ重モナル箇條ヲ申上ゲレバ、此改正ニ依リマシテ國庫ノ歳入ノ増減如何ト云フ間ガゴザイマシタ、之ニ向ッテ政府委員ハ課稅ノ金額ハ現行法ノ不動產等ニ關スル登錄稅ニ標準ヲ取リ、概シテ其輕キ程度ヲ以テ定メル、又其歳入金額ノ増減ニ至ッテハ、輕便鐵道ニ於テハ後來ノ情況ニ依ラナケレバ今日歳入ノ額ハ見込ガ立チ兼ネルト云フコトデアリマシタ、又著作權ニ付イテハ凡ソ二千圓ホド減額ヲスル見積リデアアル、其減額ヲスルト云フ原因ハ、是マデノ著作ノコトニ付キマシテハ、文藝竝ニ學術、美術ノ著作物、新聞紙、定期刊行物、寫眞等ノ登錄ガアリマシタノガ、此改正ニ依ッテ削除ニナリマシタ爲ニ幾分ノ減ヲ生ズルト云フ答デゴザイマシタ、又漁業權ニ付キマシテハ、此第六條ノ第五項中ノ改正ニ依ッテ課稅ノ分ヲ含ンデ凡ソ四千四百圓餘ヲ増スト云フコトデアリマス、ソレカラ漁業權ノ移轉ニ於キマシテハ凡ソ一万二千五百圓ホド新ニ歳入ノ増ス見込デアルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ漁業權ノ相續以外ノ場合、賣買等ノ場合ニハ北海道ノ如キハ隨分金額ノ大キナモノモアルヤウニ思フ、又此他ニ於テモ權利ノ移轉スルモノモアルヤウニ考ヘルカラ、果シテ然ラバ其定率ノ金額ニ差等ヲ付シテハ如何ト云フ質問ガゴザイマシタ、之ニ對シテ政府委員ハ實際上ニ於テ煩雜ニ互ッテ何分其價格ノ正確ナルモノガ得難イ、且ツ之ニ依ッテ價格ヲ以テ稅ノ標準ヲ立ツルコトニスルト、種々爭ガ絶エヌヤウナ是マデノ實況デアアル、ソコデ寧ロ每一件ト致シマシテ一件ニ付イテ五圓ト云フ稅ヲ課スルノガ穩當デアルト云フ評議デスウシタト云フ答デゴザイマス、以上申上グル如ク輕便鐵道法ノ制定、漁業法、著作權法ノ改正ニ伴ヒマシテ最モ必要ナルモノト認メテ可決シタ次第デゴザイマス、隨分條數ハ餘計ナヤウデアリマスケレドモ、結局此三案ヨリ關聯シタ所ノ結果デ、唯其稅ノ事柄ダケニ關スル簡單ナ案デアリマスルノデ、願ハクバ讀會省略ヲ以テ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伊澤修二君 讀會省略賛成

○男爵周布公平君 賛成

○男爵野田豁通君 賛成

○岩村兼善君 賛成

○小牧昌業君 賛成

○中島永元君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○男爵調所廣丈君 賛成

○伯爵正親町實正君 賛成

○男爵關義臣君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 下條君ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案、委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十七、韓國在勤鐵道院所屬官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員

長報告、松木伯爵

韓國在勤鐵道院所屬官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十九日

右特別委員長
伯爵 松木 宗隆

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵松木宗隆君演壇ニ登ル〕

○伯爵松木宗隆君 御報告ヲ申上ゲマス、本案ハ韓國在勤ノ鐵道院官吏ニ恩給並ニ遺族扶助料ヲ給與セムトスルノ案デアリマシテ、是マデハ韓國在勤ノ鐵道官吏ハ統監府ノ所屬トナツテ居リマシタカラ、既ニ是等ノ恩典ヲ受ケツ、アッタノデアリマシタガ、トコロガ御承知ノ如ク昨年ノ十二月ニ韓國鐵道ノ

所管ガ統監府ヨリ鐵道院ノ方ヘ移サレマシタル結果、法文ノ上ヨリ致シマシテ所管ヲ變ヘタル爲ニ是等ノ恩典等ヨリ離レタコト、ナッタノデアリマスカラシテ、本案ニ依ツテ更ニ引續イテソレ等ノ恩典ヲ繼承セシメムトスルノ案デアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ之ニ對シテ何等異論モ無ク、自然ノ結果ト認メマシテ直チニ可決ニ相成リマシタコトデゴザイマス、而シテ現在在勤ノ鐵道役員ハ判任官ガ三百五十九名、高等官ガ五十四名アルサウデゴザイマス、此段御報告申上ゲマス、本案ハ唯今申上ゲマスル如キ最モ簡單ナルモノデアリマスルカラ、同ジク讀會ヲ省略シテ直チニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 讀會省略賛成

○黑岡帶刀君 賛成

○子爵裏松良光君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○岩村兼善君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○男爵中川與長君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○伯爵松平賴壽君 賛成

○男爵徳川厚君 賛成

○男爵北大路實信君 賛成

○子爵永井尙敏君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 松木伯爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアリマシタ、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十八、電氣事業法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、柳原伯爵

電氣事業法案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十九日

右特別委員長

伯爵 柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

第五條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

〔特別委員ノ修正ニ係ル條ノミナ載録ス、小字ハ修正文、ハ同削除ノ符號〕

第六條 第一條第一號ノ電氣事業者ハ料金其ノ他電氣供給ノ條件ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第六條ヲ第七條ニ改メ第七條以下第十條迄條數ヲ順次繰下ク

第十一條 第六條、第七條及第九條ノ場合ニ於テ現ニ生シタル損失ハ電氣事業者之ヲ補償スヘシ

前項ノ補償金額ハ許可ヲ爲シタル行政官廳ニ於テ之ヲ裁定ス裁定ニ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ電氣事業者ヲシテ損失ノ補償ニ充ツヘキ金額ヲ供託セシムルコトヲ得

第十二條ヲ第十三條ニ改メ第十三條以下第二十一條迄條數ヲ順次繰下ク

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 唯今議題トナツテ居リマスル電氣事業法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ去ル十九日ニ開イテ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ、更ニ引續イテ會議ヲ開キマシテ、政府委員ノ出席モ請ヒマシテ詳細ノ説明ヲ聽キ質問等ヲ致シ併セテ討議ニ移リマシテ、全會一致デ以テ此衆議院デ修正ニナリマシタル所ノ第六條ヲ除イテ、其他ノモノハ衆議院ノ修正ニ同意ヲ表シマシテ全會一致ヲ以テ可決シタルデアリマス、即チ此第六條ダケハ原案ニ復活ヲ致シマシテ、他ノモノハ衆議院ノ修正案ヲ容レマシテ、全會一致ヲ以テ可決ヲ致シタルデアリマス、ソレデ會ヲ開キマシタル

ノハ僅ニ一回デゴザイマシテ、午前カラ午後ニ互ツテ時間モ餘リ長カッタノデハナカッタノデアリマスル、併ナガラ殊ニ衆議院デ修正ニナツテ居ルコトデモアリマスニ依ツテ、十分ニ審議ヲ盡シテサウシテ決ツタ次第デアリマス、即チ努メテ慎重ニ審議ヲ重ネタモノデアルト云フコトハ御承知ニナリタイノデアリマス、ソレデ此第六條ハ……政府モ固ク此第六條ハ保存ヲスル必要ヲ認メラレタノミナラズ、委員會ニ於キマシテモハ原案ヲ復活スル方ガ宜イト云フコトデ左様ニナツタノデアリマス、ソレデ衆議院デ修正ニナツタコトデゴザイマスカラシテ、委員會ニ於テモ冷靜ニ能ク判斷ヲ致シタルデアリマスケレドモ、不幸ニシテ此第六條ナルモノハ衆議院ノ修正ヲ容レルコトハ出來マセヌデ、原案ヲ以テ可トスルト云フコトデ、全會一致ヲ以テ原案ニ復活シタルデアリマス、大體此案ノ精神ハ、電氣事業ノ發達ニ連レマシテ、其監督上本法ノ制定ノ必要ヲ認メルト云フコトガ、此案ヲ提出シタル所ノ要旨デアルサウデゴザイマス、要スルニ需用者ト供給者ト、此兩者ノ間ニ立チマシテ能ク中庸ノ途ヲ圖ルヤウニスルト云フコトガ、此案ヲ提出シタル所ノ重モナル原因デアルノデアリマス、而シテ此第六條ナルモノハ、電氣事業者ハ料金及其他電氣供給ノ條件ヲ定メマシテ主務大臣ノ認可ヲ受ケルト云フコトガ、此第六條ノ精神ナノデアリマスル、ソレデ段々此條項ニ付キマシテモ、政府ニ質問イタシマシタル所ガ、政府ノ言ハレルニハ、電氣業ノ發達ヲ圖ルノ最モ便宜ナル方法ヲ取ルト共ニ、一方ニ於テハ又一般ノ人ノ便利ニナルベキ所ノ規定ヲ立ツル必要ガアルカラシテ、ドウシテモ此六條ナルモノハ保存スル必要ガアル、殊ニ電氣事業ノ如キハ、往々獨占的ノ傾向ヲ帶ビルモノデアツテ、而カモ一般ノ人ニ最モ深キ關係ヲ有スル所ノモノ、即チ彼ノ料金ノ如キモノニ關シマシテハ相當ノ制限ヲ加ヘ、相當ノ監督ヲ加ヘ、而シテ相當ノ調和ヲ圖ルト云フコトガ、是非トモ事業ノ發達ノ上、或ハ需用者ノ便利ノ上カラ考ヘテ見テモ、實ニ必要デアルト云フコトヲ反覆シテ政府ハ陳述サレタノデアリマス、委員會ニ於テモ此趣意ハ誠ニ尤モデアルト認メマシタルガ故ニ全會一致ヲ以テ此第六條ノ復活ヲ致シタル譯ナノデアリマス、サリナガラ此場合ニ、委員會中ノ一人ノ御方ガ、如何ニモ政府ニ於テ監督ヲスル必要ガアルト云フコトハ認メルケレドモ、監督ガ其度ヲ過ギテ干涉ニ互ル様ナコトガアルト、折角ノ宜イ趣意ノ下ニ其結果ガ惡ルイ様ニナルト、甚ダ残念デアアルカラ、幸ニ干涉ニ互ツテ、サウシテ不便ヲ感ゼシメルヤウナコトノ無イ

ヤウニハ、是非シテ貫ヒタイモノデアルト云フ希望ヲ述ベラレタノデアリマス、政府ニ於テモ此希望ハ能ク容ラレテ、勿論サウ云フ干涉ニ互ルヤウナコトハシナイト云フ確ナ言責ヲ以テ、答辯ヲセラレタノデアリマス、尙又斯ノ如キ電氣事業ニ對シテ、政府ハ相當ノ制限ヲスルト云フコトハ、單リ我國ノミナラズ、歐米各國ニ於キマシテモ皆此制度ガ備ハラヌハ無ナイサウデアリマスルカラシテ、我國ノミニ限ッテ此制限ヲ取去ルト云フコトハ、甚ダ不道理デアルカノ如ク考ヘルノデアリマス、尙ホ是ノ例トシテハ、政府ハ其他交通機關デアル所ノ鐵道トカ軌道トカノ料金、又ハ保險事業ナドニ對シテモ相當ノ監督ヲ加ヘ相當ノ制限ヲシテ居ラル、ト云フコトデアリマシテ、是等モ此條項ヲ存在スルノガ必要デアルト云フコトヲ確メル有力ナル論據トナッタノデアリマス、尙又小ニシテハ普通ノ乗合馬車ノ如キモノ、賃金デモ、政府ハ相當ノ監督ヲ加ヘテ居ルト云フコトデアル、要スルニ此方針タル、一方ニ於テハ民業ノ發達ヲ圖ルト共ニ、一方ニハ獨占の事業ニ向ッテ相當ノ制限ヲ加ヘ、需用者ニヒドイ不便ヲ感ゼシメナイ様ニシテ、調和ノ手段ヲ執ラレタモノデアラウト思ヒマス、之ヲ要スルニ、此案ハ公衆一般ノ者ニ對シテ直接ニ至大ナル關係ノ有ル案デアリマスカラ、此第六條ヲ復活シテ原案ノ儘ニシテ置クト云フコトハ尤モナコトデアルト委員會ニ於テハ認メタノデアリマス、ドウゾ諸君ニ於カレマシテモ幸ニ第六條ヲ除イテハ衆議院ノ修正ヲ容ラレテ、第六條ハ原案ニ御賛成アル様ニ切望イタシマス、此段御報告イタシマス

○伯爵柳澤保惠君 意見ヲ述ベタウゴザイマス、宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 大體ノ意見デスカ

○伯爵柳澤保惠君 大體ノ意見デス

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒマス

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 諸君、唯今委員長ヨリ御報告ニナリマシタルコトニ付キマシテハ、私ドモ全然贊同ノ意ヲ表シマスル、衆議院ノ修正ニ付キマシテモ、唯今ノ第六條ヲ除キマシテハ無論同意デアリマスルガ、此第六條タルヤ、一方ニ於テハ甚シイ干涉ノ様ニ解釋サレル方モアリマスケレドモ、私ドモハ先般補助航海法案ノトキニ申シマシタ通りニ、ドウモ甚シイ狀態ガ大會社ニアリマスル所ノ今日ノ趨勢ヨリシテ、此第六條ニ付キマシテモ全然、政府ノ意見

ニ同意スルノデアリマス、或ハ是ガ衆議院ニ回リマスレバ、場合ニ依ッテ、政友會多數ノ衆議院デアリマスカラ、又之ヲ撥ネ返スカモ知レナイガ、其場合ニ於キマシテモ、何卒本院ニ於キマシテハ……多分此案ハ全會一致ヲ以テ御同意ニナルコト、信ジマスルカラシテ、サウ云フ場合ニハ、必ズ讓歩スルコトナシニ、十分ニ貴族院ノ權能ヲ發揮シテ、一步モ讓ラヌト云フ覺悟ヲ以テ御爭ヒクダサル様ニ、是カラ或ハ出來マスカモ知レマセヌ所ノ協議委員ニ向ッテ、豫メ希望スルノデアリマス、是ハ甚ダ差越シタ御願ヒカモ知レマセヌガ、私ドモハ現時ノ工業會社ノ趨勢ヨリ見テ、此第六條ノ如キハ最モ必要ト考ヘマスカラ、ドウゾ其意ヲ御酌取リクダサイマシテ、全會一致デ御賛成アラムコトヲ希望スルノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵田健治郎君 贊成

○男爵中川興長君 贊成

○男爵關義臣君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キタイト云フ柳原伯爵ノ動議ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、……全部、委員長ノ報告ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵山口弘達君 贊成

○男爵田健治郎君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ柳原伯爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵曾我祐準君 本員ハ此際動議ヲ提出イタシマス、我々豫算委員ニ御委託ニナリマシタ諸案、豫算ノ委員會ヲ結了シマシタニ依ッテ、議事日程ヲ變更シテ直チニ豫算案ニ係ル九案ノ御評議ヲ願ヒタウゴザイマス、議事日程變更ノ要求ヲ致シマス

○子爵三島彌太郎君 曾我子爵ノ動議ニ賛成イタシマス

○男爵中川興長君 賛成

○伯爵德川達孝君 賛成

○伯爵柳澤保惠君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ此際豫算ニ關スル九案ヲ議事日程ヲ追加シテ議事ヲ開クト云フコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、明治四十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)、明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)、明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)、明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)、明治四十三年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)、明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)、明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第四號)、會議、豫算委員長報告、曾我子爵

一明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)
一明治四十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)
一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)
一明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)
一明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)
一明治四十三年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)
一明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)
一明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)
一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第四號)
右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月二十二日

豫算委員長

子爵 曾我 祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 報告ヲ致シマス、唯今議長ノ御宣告ニナリマシタ通り豫算ニ關スル九案ハ、案ハ甚ダ澤山デアリマスケレドモ此内容ハ至ッテ簡單ナモノガ多イデアリマス、第一番ニハ明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案第二號デアリマスガ、是ハ各省ニ多少互ッテ居リマスノデ、之ニ付キマシテハ質問モゴザイマシタ、其質問ノ二三ヲ申シマスルト、鴨綠江ノ採木公司ヨリ受入ル、金ガ茲ニ計上シテアリマス、歳入トシテ計上セラレテアリマスガ、此鴨綠江ノ採木公司ハドウ云フ工合ニ運ンデ居ルカ、且ツ其利益ニ對シテハドウ云フ工合デアルカト云フ質問ガ出マシタ、政府ハ之ニ答ヘテ、イロ／＼世間デハ惡評モセラレタガ實際ハ存外能ク運ンデ今年ハコレ／＼ノ利益ヲ計算シタ譯デアアルガ、資本金ニ對シテモ七朱グラキニ付クノデアアルカラ、初年トシテハ餘ホド好キ結果ヲ得タヤウニ思フ、斯ウ云フ答辯デゴザイマシタ、ソレカラ又庄川又渡良瀬川ノコトニ付キマシテモ質問ガアリマシタ、是ハ追加豫算ニナゼ掲ゲタノデアアルカ、是ハ以前ニ分ッテ居ルノニ、ナゼ追加豫算ニ出シタノデアアルカト云フ問デゴザイマシタガ、政府ガ之ニ答ヘテ此庄川渡良瀬川ニ關シテハ埼玉縣外幾縣ニモ關係シテ居ルノデ、其縣トノ交渉等

明治四十三年三月十九日

右特別委員長

子爵 實吉 安純

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵實吉安純君演壇ニ登ル〕

○子爵實吉安純君 唯今議題ニナリマシタ會計検査院法中ノ改正デアリマスガ、此案ハ此理由書ニモアリマスル通り今般行政整理ノ結果、定員ヲ減少スル理由ガアルト云フコトデ、極メテ簡單デアリマス、ソレデ今般ノ改正即チ減員ニナルモノハ是マデ書記官ガ二名デアッタ所ガ專任一名ニスル、ソレカラ検査官補ト云フモノガ二十名デアッタ所ガ六名ヲ減ジテ十四名ニスル、ソレガマア重モナル骨子デアリマス、ソレカラ検査官補ト申スモノハ二十年前ノ制定デアリマシテ其後官名ノ他ニ變遷等ガアル爲ニ今度序デヲ以テ此官名ヲ改メル、其官名ガ即チ是マデ検査官補ト申シタノヲ副検査官ト云フコトニ改メル、ソレカラ屬官ト云フモノヲ今度書記ト改メル、是モ皆他ノ行政廳ノ例ニ倣ッテヤルト云フコトデアリマシテ、ソレカラ其次ノ點ハ是マデ検査官ハ總テ奏任官デアル所ヲ今度ハ其内幾分ヲ勅任官ニ進メタイ、是ガ又一ツノ案デアリマス、是ハ検査官ガ十二名アル所ヲ是ハ次ノ條デ其内幾分ヲ勅任官ニ進メタイ、其幾分ト云フノハ唯今ノ所デハ兩三名勅任官ニ進メタイト云フ意見デアルサウデアリマス、是ハ二十年所デハ部長三名、ソレカラ院長、サウ云フ勅任官以上ノモノガアレバ他ノ行政官廳トノ比例上適當デアッタ、併シ唯今ニナッテハ行政廳ニ依ッテ隨分勅任官モ多數ニナッテ居ル、サウスルトソレト權衡ヲ保ツ爲ニ検査官中兩三名ハ勅任官ニ昇ボシテ適當デアルト云フコトダサウデアリマシテ、ソレカラ其検査官ノ内幾分ヲ二人トカ三人トカヲ勅任官ニスルトカ、ソレカラ書記ト技手ノ定員ハ是ハ勅令ニ讓ルト云フコトニナッテ居リマス、是マデモ判任官ノ定員ハ矢張り勅令デ定メラレテアッタノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ第六條中ノ非職ト云フ言葉ヲ休職ニ改メルト云フコトデアリマス、是モ別ニ意味ハ無いガ唯二十年前ハ非職ト云フ言葉ヲ行政官ニ於テモ矢張り使ッテ居ッタ所、此節デハ休職ト云フ言葉ニ段々變遷シテ來タ爲ニ是モ行政官ト權衡ヲ保ツ爲ニ休職ト改メル、是ダケノコトデアリマス、ソレカラ此附則ガ二ツゴザイマスガ、是ハ施行期日ノコト、ソレカラ今ノ検査官補ト申シタノヲ副検査官ト今度改ムルコトニナ

ニ付イテ段々暇ガ要ッテ豫算編製ニ間ニ合ハナカッタト云フ説明デアリマシタ、ソレカラ明治四十三年度ノ特第一號、是ハ臺灣事業公債及借入ノ件デアリマスガ、之ニ付キマシテハ何等質問モゴザイマセヌデアリマシタ、追第三號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ、是モ臺灣ノ借入金デゴザイマスガ、之ニ付イテハ此利子ガ一箇年百分ノ六半以内ト云フコトガ之ニ書イテアリマスガ、此利子ノコトニ付イテ少シ質問ガアリマシタ、ソレハ別段御報道スル必要モ無カラウト思ヒマスガ、少シノ質問ハアリマシタ、四十二年度ノ總豫算追加ノ第三號、是ハ兩院議院ノ出版物ガ多クナッタ其費用ノ追加デアリマス、是モ質問モ何モゴザイマセヌ、ソレカラ四十三年度追加ノ第三號、是ハ韓國ニ於ケル郵便局ガ火災ニ罹ッタカラ之ヲ建テ直スト云フ費用デゴザイマスガ、無論是ニハ質問モゴザイマセヌデアリマシタ、特第二號、四十三年度ノ追加デアリマス、是ハ國債整理基金ノコトデアリマスガ、之ニ付キマシテモ別段質問ハゴザイマセヌ、第四號四十二年度總豫算追加、是ハ牛疫ノコトデアリマス、ソレカラ第四號四十三年度ノ總豫算追加、是モ牛疫ノコトデアリマス、此二件ニ付イテハ少シバカリ質問モアリマシタガ、別段御報道スル程ノコト、モ考ヘマセヌ、追第四號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、是ハ過日本議ニ上ボリマシタ所ノ滿洲鐵道ノ社債ニ對スル保證ノ件デアリマス、即チ此度四千萬圓ヲ限リ元利支拂ヲ保證スルト云フ案デアリマス、是モ別段質問ハゴザイマセヌ、以上九案トモ原案通り委員會ニ於キマシテハ可決スベキモノト相成リマシタ、此段御報告イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今、豫算委員長ノ報告セラレマシタ豫算案九案全部ヲ問題ニ供シマス、……別段御發言モ無イト認メマスカラ採決ヲ致シマス、九案全部、豫算委員長ノ報告ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十九、會計検査院法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、實吉子爵

會計検査院法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

リマスカラ、ジレニハ別ニ辭令ヲ用キナイト云フダケノコトデアリマス、斯
ウ云フコトデ極メテ……是ハ豫算ニハ既ニ決定シマシタノデアリマスルカラ
シテ、モウ此際ニアッテ別ニ異議ヲ申ス點ハ少シモ認メナイノデ委員全體一
ツノ異議ナク可決ヲ致シマシタ、此段御報告イタシマス、序デニ申シマス
ガ、唯今豫算モ今日決定シタ以後ノコトデアリマスカラ異議モ無カラウト考
ヘマスカラシテ、ドウゾ讀會ヲ省略イタシマシテ直チニ可決ニナラムコト
ヲ……

○男爵北島齊孝君 賛成

○子爵内田正學君 賛成

○男爵野田豁通君 賛成

○男爵南岩倉具威君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○男爵田健治郎君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○男爵武井守正君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○男爵村上敬次郎君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 實吉子爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガゴ
ザイマシタ、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ニ對シテ御異存ゴザイマセスカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十、災害地租特別處分法案、政府
提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、清棲伯爵

災害地租特別處分法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十八日

右特別委員長

伯爵 清棲 家教

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵清棲家教君演壇ニ登ル〕

○伯爵清棲家教君 本案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案
ハ過日委員會ヲ開キマシテ政府委員ノ出席ヲ求メマシテ本案ノ提出ノ理由ヲ
聞キマシテゴザイマシタ、此提出ノ理由ト致シマシテハ諸君ノ御承知ノ如ク
先年來此災害地ニ對スル地租特別處分法ト云フ法律ガ改正ニナッテ出テ居ル
ノデゴザイマス、然ルニ此度ハ其法律ヲ……二ツノ法律ヲ即チ整理ヲ致シマ
シテ、即チ今度ノ法案トナッテ、即チ此災害ノ場合ニ於キマシテハ十年間ノ
延納ヲ許ス、又再度災害ノアッタトキニハ前ノ地租ヲ免除ヲスル、斯ウ云フ
立テ前ノ法案ニナッテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ委員ノ御方ヨリ質問ガ
一二ゴザイマシタ、即チソレハ政府ニ於テ此法案ヲ提出サレタノデアアルガ、
併ナガラ此法案以外ニ何カ他ノ方法ヲ講ズル御考ヘハ無イノデアアルカ、即チ
前ノ備荒儲蓄ノ當時ニハ災害ガアッタ場合ニハ、其災害地ノ農民ニ對シテ幾
分ノ地租ニ對シテ補助ヲシタト云フコトガアル、然ルニ今日ハ罹災救助基金
ニナッテ居ッテ、サウ云フ方法ハ今日ハ無イノデアアル、故ニ何トカ政府ニ於
テ御考ヘハ無イカト云フ御質問デアリマシタガ、政府委員ニ於テモ今日ノ所
デハ別段ニ他ノ方法ヲ講ズル考ヘハ無イ、斯ウ云フ御答辯デゴザイマシタ、
ソレカラ他ニ是ト云フ御質問モゴザイマセナンダガ、遂ニ討論ニ入りマシ
テ、即チ前ニ御質問ニナリマシタ御方ヨリ、即チ此法案ニ反對ノ御意見ガゴ
ザイマシタ、即チソレハ前ノ質問ヲシタ如ク政府ハ何トカ方法ヲ講ズレバ宜
イ、或ハ組合ノ如キモノヲ設ケテ、即チ其災害地ノミヲ濟フト云フ方法ニシ
テ賁フトカ、他ニ何トカ政府ニ於テ方法ヲ講ズルガ宜シイト云フ、即チ御意見
デゴザイマシタ、即チ此御意見ハ其御提出ニナリマシタ委員ノ御方ヨリ必ズ
ヤ今日委シイ御辯明ガアラウト存ジマスカラ、私ハ其事柄ハ差控ヘテ置キマ
ス、ソレカラ賛成ノ御方ノ御意見ハ、即チ此災害地ニ對スル地租免除ト云フ
問題ハ、第十議會ヨリノ問題ニナッテ居ッテ、何レノ時モ貴族院及衆議院ニ
於テ意見ヲ異ニシテ、遂ニ兩院協議會ト云フコトニナッテ法案ハ何時モ成立

ッテ居ルノデアル、即チ前ノ法案ハ明治三十四年法律第二十七號デアル、ソレカラ次ハ明治三十六年法律第三號デアル、斯ウ云フ工合ニ何時デモ兩院ガ意見ヲ異ニシテ居ルノデ、年々歳々此問題ヲ提出サル、ノデアルカラ、今度ノ政府案ト云フモノハ、即チ十年ノ期間ニ於テ延納ヲ許スコトニナル、前ニ二度アツタ場合ハ、前ハ災害ニ對シテハ即チ地租ヲ免除スル、斯ウ云フノデアルケレドモ、衆議院ノ修正ニ於テハ災害ノアツタ其年ニ限ッテ免除スルト云フ法案デアルカラ、即チ此法案ノ方ガ宜シイ、年々歳々兩院ガ意見ヲ異ニスル法案デアルカラシテ、即チ本年ハ衆議院ノ修正ニ全然同意スル、斯ウ云フ御説デアッタノデアリマス、其他御意見ハ無イガ爲ニ採決イタシマシタ所ガ、多數ヲ以チマシテ衆議院ノ修正ノ如ク可決スベキモノト議シタノデゴザイマス、此段ヲ申上ゲマス、尙ホ前申上ゲマシタ如ク此案ニ御反對ナサル委員ノ御方、其委員ノ御方ヨリ委シク御辯明ニナラウト思ヒマスカラ、此段ヲ申上ゲテ置キマス

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君 此案ハ簡單デゴザイマスガ、事體ハ甚ダ重イコト、存ジマスル、依ッテ聊カ意見ヲ陳述イタシマス、抑、斯ノ如キ災害免除ニ關スル法律ノ初メハ、明治二十五年ニ於キマシテ岐阜愛知ノ震災事件ニ始マッタノデアリマスガ、爾後年々一時的ノ免除法案ガ出タノデゴザイマス、終ニ明治三十四年ニ至ッテ法律二十七號ヲ以テ水害ハ地租ヲ免除シ、其他ノ災害ハ三十六年ニ於テ法律三號ヲ以テ地租ノ延納ヲ許スト云フコトガ成立ッタノデアリマスカラ、今日ハ二途ニ岐レテ居ルノデ、政府ハ之ヲ整理シテ一ノ法案トナシテ、皆均シク地租ノ延納ヲ許スト云フコトニ致シタノデアリマス、今茲ニアリマスル所ノ原案、即チ總テノ場合ニ地租ヲ免除スルト云フノ衆議院ノ修正案、即チ原案ハ、是ハ今日ノ地租法ノ本義ニ反對スルモノデアル、又貴族院ガ既ニ三十六年以來執リ來ッタ所ノ主義ニモ適ハザルモノデアル、故ニ本員ハ委員會ニ於テモ、亦當席ニ於テモ、此原案ニ同意セザルモノデアリマス、又併セテ之ヲ否認スルト共ニ政府ニ對シテ一ノ希望ヲ陳述イタシタイト存ズルノデアリマス、抑、曩ニ地租ノ改正ノアリマシタ時ニハ、從來檢見若クハ定免ニ據ッテ年々地租ヲ徵收スル制度ヲ改メテ地價修正法トナシテ、年ノ豐凶ニ依ッテ租稅ヲ増減セズト云フ主義ニ改メタルト共ニ、今日ハ即チ或ル特別ノ場合ニ地租ヲ減免スルト云フコトハ、地租法ト相容レザルモ

ノデ、若シ地租ヲ免除スルト云フノ主義ヲ採ラムカ、即チ地租條例ノ二條ニ於ケル「年ノ豐凶ニ由リテ増減セス」ト云フ一條ハ、爲ニ侵サレコトニナル、兩者孰レカラ取ラヌケレバナラヌ譯デアリマス、唯奈何セム近時水害ノ場合ハ一ノ特別ヲ開イタノミデアル、ソレデアアルカラ、是ハ頗ル今日ノ地租法ノ制度ニ背クコトデゴザイマスカラ同意ヲ致サスノデアリマス、併ナガラソレト共ニ政府ガ其原案ニ於テ唯總テノ場合ニ地租ノ延納ヲ許スコトノミヲ以テ足レリトスルト云フコトハ、是ハ大ニ考慮ヲ要スベキコトデアラウト考ヘル、ト云フノハ、抑、地租改正、若クハ地租法ナルモノハ、單ニ收稅ノ法デハナイ、我邦ニ於テハ實ニ重大ノ事デゴザリマシテ、我が地租法ハ一ノ土地ノ制度トモ申スベキモノヲ包含シテ居ルノデアリマス、曩ニ明治十二年六月ニ於テ政府ハ地租改正ヲ了スルト共ニ、之ヲ議シテ曰ク、舊法ハ豐年ニハ重ク收稅ヲシテ凶年ニハ其稅ヲ輕クスル、トコロガ新法ハ豐凶ヲ論ゼズト云フコトニナッタカラシテ、茲ニ大ニ考フベキ點ガ三ツアル、一ハ國家ヲシテ此水旱ノ場合ニ於テ相當ノ備ヲナサシムルコト、二ハ人民ヲ協同シテ災害ニ當タラシムルコト云フコト、三ハ公儲ヲナサシムルコト、此三點ヲ研究シマシテ、備荒儲蓄法ナルモノヲ設ケルト云フコトニ、當時政府ハ議ヲ決シテ、政府ガ徵收スル總額ノ百分ノ三即チ百二十萬圓ヲ控除スル、又即チ百二十萬圓ヲ公儲スル、又人民ノ納稅スル所ノ地租ノ百分ノ一即チ百二十六萬圓ヲ公儲スル、合セテ二百四十萬圓ト云フ資金ヲ得テ、其五十萬圓ヲ以テ儲蓄米ヲ購入スル、アトノ百四十萬圓ハ資金ノ爲ニ公債ヲ購入スル、アトノ五十萬圓ハ災害其他ノ場合ニ於テ地租ヲ納メシメル便利ヲ開イテ、或ル場合ニハ救助ヲ爲シ或ル場合ニハ地租ニ相當スル金額ヲ貸與補助スルト云フ制度ヲ設ケタノデアリマス、是ハ既ニ御承知ノ通りデアッテ、此經畫ハ二十年ヲ待ッテ此資金ヲ二千萬圓ニ爲スノ經畫デアリマシタ、トコロガ備荒儲蓄法ノ地租法ト共ニ制定セラレテヨリ僅カ九年ノ後、既ニ千八百萬圓ノ巨額ヲ得タノデアリマス、政府ハ既ニ當時斯ノ如クシバ政府ノ儲蓄又人民ノ側ヨリスル公ケノ儲蓄ノ上ニ於テ十分ノ餘裕ガアルコトデアアルカラ、政府及人民ノ公儲金ヲ廢シテ明治二十二年ニ於ケル儲金總額ヲ以テ足レリトシタコトデアリマス、然ル所其後政府ハ三十二年ノ法律三十號ニ據ッテ米穀ノ購入ヲ致シタノデ、之ト同時ニ災害荐ニ臻ッタモノデゴザイマスカラ、此資金ガ缺乏ヲ告ゲタノデ、故ニ政府ハ相當ノ資金繰入金法案ヲ作ッテ之ヲ請求イタシマシタケレドモ、

當時其議ガ成立タナカッタノデアリマス、遂ニ一變シテ罹災救助法トナッテ今日ニ於テハ地租ヲ納ムル能ハザル災害ニ罹ッタ場合ニ其地租額ヲ貸與補助スルト云フ制度ハ無クシテ唯僅ニ罹災救助基金法ノミアル次第デアリマス、其議ニ曰ク、若シ人民ニシテ災害ニ罹ッタ田畑ノ地租ヲ納ムルコト能ハザル場合ニ於テハ既ニ自治制モ施カレテ以來ハ郷黨ヲシテ相助ケシムト云フコトノ一アルノミデアリマス、卑見ニ於テハ國稅ヲ納メルト云フコト若クハ國稅ヲ納メルコトノ便利ヲ圖ルト云フコトハ是ハ自治制ノ職務デナイト思フ、國稅ヲ納メル爲ニ便利ヲ與フルコトハ矢張り國ガ經畫スベキコトデアラウト思フ、ソレデアラカラ今日衆議院ノ修正ニ係ル免除ト云フコトハ反對シマスクレドモ、同時ニ之ニ反對スルト共ニ政府ニ向ッテ、凡ソ災害ノ場合ニ於テハ相當ノ法ヲ以テ仍ホ舊時ニ於ケル如ク相當ノ制度ヲ設ケテ之ヲ補助スルト云フノ方案ヲ運ラサレムコトヲ希望スルノデアリマス、僅ニ郷黨ヲシテ助ケシムト云フコトデハ足ラヌコトデアラウト思フ、若シサウ云フ方案ヲ立テズ若クハサウ云フ制度ヲ設ケズシテ地租ハ其年ノ豊凶ニ由ッテ等シク徵收スト云フコトハ是ハ或ハ無理ニ涉リハセヌカト思ヒマス、茲ニ本員ハ政府ニ向ッテ或ハ質問シ或ハ希望シテ事ノ宜シキニ從ッテ時宜ニ應ジテ政府自ラ適當ノ法ヲ設ケルナリ、又ハ政府ノ補助ヲ以テ或ハ其他便宜ノ方法ニ從ッテ收穫ニ對スル保險ノ制度ヲ設ケルナリ、兎ニ角適當ノ施設アラムコトヲ希望シマス、之ト共ニ本員ハ此案ニ反對ヲ表スルモノデアリマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 此法律案ハ第一讀會ノ初メニ於テ申上ゲマシタ通り、衆議院ノ修正ト申スノハ法文ノ形ニ於テハ修正ニナッテ居リマスケレドモ、實質ニ於テハ全ク根本カラ政府ノ發案ニ對シテ變更ヲ加ヘテアルノデアリマス、即チ政府デハ災害ノ場合ニ於ケル救済方法トシテハ延納ヲ許ス、其延納ヲ許スコトニ於テ從來認メラレテ居ルダケデハ足ラナイ故ニ、再ビ災害ニ罹ッタ時ニ處スル方法、即チ其場合ニ於テハ免租スルケレドモ、大體ノ原則トシテハ延納ト云フコトニスルノガ原案デ出來テ居リマシタモノヲ、全ク總テノ災害ノ場合ニ於テ免租スルト云フ案ニ翻案サレテアル次第デアリマス、ソレニ對シテ政府デハ不同意デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタ、唯今日賀田男爵ノ述べラレタ通り災害ノ場合ハ全然免租スルト云フ法案ハ地租條例デ定メラレタ本義ニモ反シマスシ、又實際其施行ノ上ニ於テモ時ニ弊

害ヲ生ズル虞ガアルノデアリマス、ソレデ此衆議院デ修正ヲ加ヘラレタ案、即チ根本カラ案ヲ變ヘマシタ案ニ對シテハ政府ハドモ不同意ヲ申スノデアリマシテ、寧ロ唯今アル現行法ノマ、行フ方ガ斯様ナ修正案ノ通過イタシマスヨリ宜カラウト考ヘマスクラキデアリマス、併ナガラ唯今日賀田男爵カラ斯ウ云フ災害ノ場合ニ處スル方法トシテハ單ニ延納ト云フノミデハ足ラナイヤウニ思フカラ、十分講究シテ或ハ收穫ノ保險ノコトナリ若クハ地租ノ補助貸與等ノコトヲ考ヘテ見ルヤウニシタラ宜カラウト云フ御希望ガアリマシタガ、是ハ御尤モノコトデアリマス、故ニ此事ニ付イテ政府デハ十分講究イタシマスガ、兎ニ角衆議院ノ原案トシテ全ク政府ノ案ヲ根本カラ覆ヘシテ送付セラレタ所ノ唯今議題ニ上ボッテ居リマス災害ノ場合ハ總テ免租スルト云フ案ニ對シテハ政府ハ不同意デアリマスノデ、寧ロ此修正案ノ通過イタシマセヌコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決イタシマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ、休憩ヲ致シマス

午前十一時五十九分休憩

午後一時九分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

○子爵高木正善君 是ヨリ質屋取締法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、退席ヲ……

○議長(公爵徳川家達君) 少シ……今、御退席ニナルト定足數ガドウデアラウカト思ヒマスカラ、暫ク御猶豫ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十一、明治四十年年度歳入歳出總決算並明治四十年度各特別會計歳入歳出決算、會議、委員長報告、野田男爵

明治四十年年度歳入歳出總決算並明治四十年度各特別會計歳入歳出決算及既往年度檢査未確定金額ノ檢査確定セシモノヲ審査スルニ

第一

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管專賣局歲入第一款煙草專賣局作業收入第一項作業收入中專賣局東京販賣所外三十四箇所ノ徵收ニ係ル件

右ハ別紙決議案ノ通トス

第二

明治四十年度歲入歲出總決算遞信省所管歲出經常部第二款遞信費第七項遞信事業費中東京郵便局ノ支出ニ係ル件

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算遞信省所管帝國鐵道資本勘定歲出第一款鐵道建設及改良費第二項改良費中帝國鐵道廳ノ支出ニ係ル件

右ハ違法ノ處置ナリト雖決議案ヲ提出スルノ必要ヲ認メス

第三

明治四十年度歲入歲出總決算陸軍省所管歲出臨時部第四款營繕及初度調辦費第四項臺灣兵營廳舍營繕及初度調辦費中臺灣總督府陸軍經理部ノ支出ニ係ル件

明治四十年度歲入歲出總決算陸軍省所管歲出臨時部第十款戰後整備費第三項復舊費中第一師團經理部ノ支出ニ係ル件

同上第十二款臨時軍事費第一項臨時軍事費中陸軍會計監督部ノ支出ニ係ルモノニ係ル件

明治四十年度歲入歲出總決算海軍省所管歲出臨時部第十四款臨時軍事費第一項臨時軍事費中佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件、海軍煉炭製造所ノ支出ニ係ル件及吳海軍經理部ノ支出ニ係ルモノニ係ル件

右ハ正當ノ支出ト認メサルモ決議案ヲ提出スルノ必要ヲ認メス

第四

明治四十年度歲入歲出總決算歲入經常部第三款官業及官有財產收入第二項森林收入中北海道廳室蘭支廳外八支廳ノ徵收ニ係ルモノ三十五件

右ハ政府ノ處置穩當ヲ關クモノアルヲ以テ將來相當ノ改良ヲ加フヘク注意ヲ促スヘキモノト認ム

第五

明治四十年度歲入歲出總決算歲入經常部第三款官業及官有財產收入第

四項鹽專賣收入中神戸鹽務局ノ徵收ニ係ル件、專賣局大阪收納所神戸出張所ノ徵收ニ係ル件

明治四十年度歲入歲出總決算歲入臨時部第一款官有物拂下代第二項地所拂下代中北海道廳小樽支廳ノ徵收ニ係ル件、北海道廳室蘭支廳ノ徵收ニ係ル件

明治四十年度歲入歲出總決算歲入臨時部第一款官有物拂下代第四項物品拂下代中吳海軍經理部ノ徵收ニ係ル件

明治四十年度歲入歲出總決算歲入經常部內務省所管第八款府縣第二十項港務費中福岡縣港務部ノ支出ニ係ル件

明治四十年度歲入歲出總決算陸軍省所管歲出經常部第二款軍事費第二項廳費及第三項修繕費中第一師團經理部ノ支出ニ係ル件

同上第十五項患者費中第七師團經理部ノ支出ニ係ル件

明治四十年度歲入歲出總決算陸軍省所管歲出臨時部第四款營繕及初度調辦費第二項建築費中臨時陸軍建築部本部ノ支出ニ係ル件

同上第十款戰後整備費第四項倉庫建築費中第一師團經理部ノ支出ニ係ル件

同上第十三款臨時事件費第一項臨時事件費中陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル件

明治四十年度歲入歲出總決算海軍省所管歲出臨時部第十八款災害費第四項吳鎮守府水道其他風水害復舊費中吳海軍經理部ノ支出ニ係ル件

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管專賣局歲出第一款煙草專賣局作業費第七項事業費中專賣局東京第一製造所外十五製造所ノ支出ニ係ル件

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管東京砲兵工廠歲出第一款東京砲兵工廠作業費第五項雜給及雜費中東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル件

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管大阪砲兵工廠第一款大阪砲兵工廠作業費第五項雜給及雜費中大阪砲兵工廠ノ支出ニ係ル件

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算文部省所管學校及圖書館歲入經常部第一款學校及圖書館第二項諸收入中札幌農學校ノ徵收ニ係ル件

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算農商務省所管森林資金歲入第一款林野拂下代第一項林野拂下代中廣島大林區署ノ徵收ニ係ル件

官有物、內務省ニ於テ政府ノ所有ニ係ル宇都宮市相生町所在宇都宮郵便局用地ト宇都宮市小堀某所有ニ係ル同市四條町市街宅地トヲ官有地取扱規則ニ依リ交換シタル件

明治三十九年度歲入歲出總決算歲入臨時部第一款官有物拂下代第二項地所拂下代中大阪府廳ノ徵收ニ係ル件

特別會計臨時軍事費陸軍省所管第一款臨時軍事費第一項臨時軍事費陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル件

右ハ政府ノ處置穩當ヲ闕クモノト認ム

第六

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算遞信省所管帝國鐵道資本勘定歲出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費中帝國鐵道廳ノ支出ニ係ルモノニ件

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算遞信省所管帝國鐵道收益勘定歲出第一款鐵道作業費第三項事業費中帝國鐵道廳ノ支出ニ係ルモノニ件

右ハ政府ノ監督其ノ當ヲ得サルヨリ生シタルモノナルヲ以テ將來ノ注意ヲ促ス必要アリト認ム

第七

明治四十年度歲入歲出總決算歲出經常部司法省所管第二款裁判所第二項廳費中樺太地方裁判所ノ支出ニ係ル件

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算歲出臨時部外務省所管關東都督府第一款事業費第五項營繕費中關東都督府民政部ノ支出ニ係ル件

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算歲出臨時部內務省所管樺太廳第一款事業費第一項營繕土木費中樺太廳ノ支出ニ係ル件

右ハ政府ニ對シテ將來ノ注意ヲ促スノ必要アリト認ム

第八

其ノ他異議ナシ
右及報告候也

明治四十三年三月十九日

貴族院議長公爵德川家達殿

決算委員副委員長

男爵 野田 豁通

決議案

貴族院ハ明治四十年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管專賣局歲入第一款煙草專賣局作業收入第一項作業收入中專賣局東京販賣所外三十四箇所ノ徵收ニ係ル件ハ煙草定價ノ値上ニ際シ過度ノ賣渡ヲ爲シ國庫ニ尠カラサル損失ヲ來シタルモノニシテ不當ノ處置ナリト議決ス

〔男爵野田豁通君演壇ニ登ル〕

○男爵野田豁通君 私委員長ニ代ハリマシテ決算委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、御報告前ニ一言申上ゲテ置キマスガ、報告ノ中デ第三ノ廉デ一箇條、第四ノ箇條デ一箇條正誤ガゴザイマシタ、是ハ皆サンノ御手許ニ正誤ノ配付ヲ致シテゴザイマスガ故ニ、唯今別段私ヨリ正誤ノ朗讀ハ致シマセス、委員會ハ初メ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ、續イテ各分科主査ノ互選ヲ致シマシテゴザイマス、次ニ二月四日委員會ハ總會ヲ開キマシテ、審査期限及各分科ノ審査ノ順序ヲ定メマシタノデゴザイマス、審査順序ハ第一ヨリ第五項マデニ分チマシテ、各分科ノ審査期限ハ三月十九日限リト致シマシタ、唯今申上ゲマス所ノ審査順序ノ箇條ハ之ヲ讀上ゲマスレバ大分長クナリマスカラ、是ハ速記録ニ留ムルコトニ致シマシテ唯今朗讀ハ省略ヲ致シマス

〔參照〕

審査順序

第一次 各分科會ニ於テ政府委員ノ出席ヲ求メス各委員ハ會計検査院ノ検査報告書並ニ政府ノ辯明書ニ就キ豫メ政府委員ニ對シ質問スヘキ箇所ヲ調査スルコト

第二次 各分科會ニ於テ政府委員ノ出席ヲ求メ各自調査シタル要點ニ就キ政府委員ニ質問スルコト

第三次 各分科會ニ於テハ政府委員ノ出席ヲ求メスシテ第二次分科會ニ於ケル質問答辯其他委員ノ開陳シタル意見ニ徴シ各分科會ノ假決議ヲ爲スコト

第四次 前項ノ假決議ニ關シ各主査ノ協議ヲ爲スコト

第五次 最終ノ各分科會ニ於テハ政府委員ノ辯明ヲ開キ本決議ヲ爲スコト

唯今申上ゲマス所ノ順序ニ依リマシテ各分科會ハ政府委員ノ説明及委員ノ質問ニ對シマスル答辯ヲ得マシテ、各分科會ハ數回ノ會議ヲ開キマシテゴザイマス、而シテ委員會ハ主査ノ報告ニ依リマシテ三月十九日ニ總會ヲ開キマシテゴザイマス、而シテ報告中ニ掲ゲテゴザイマス如ク、第一ハ不當ノ決議案ヲ提出スルコトニ至リマシテゴザイマス、第一、各特別會計歳入ニ於テ大藏省所管專賣局歳入中第一款煙草專賣局作業收入、第一項作業收入中專賣局東京販賣所外三十四箇所ノ徵收ニ係ル件ハ不當デアル、其要點ヲ述ベマスレバ、検査院ハ煙草ノ定價值上前三日間ニ於キマシテ、平常ノ賣渡高ニ比シマシテ過多ノ賣渡ヲ爲シ、其爲ニ國家ニ少ナカラザル損害ヲ來タシタノハ不當ノ取扱デアルト云フ報告デアリマス、之ニ對シマシテ政府ノ辯明ノ大要ヲ申上ゲマスレバ、元賣捌人ハ營業ノ消長、取引ノ關係ニ係リ一時ニ多數ノ買受ヲ爲スト云フコトハ必要ガアルノデアル、又毎年年末ニハ全國各販賣官署トモ平常ノ月ト違ヒマシテ、年度末ニハイツモ多數ノ賣渡ハアルノデアル、決シテ四十年度ノ十二月ニ限ッテ検査院ノ報告ノ如ク過多ノ品ヲ一時ニ賣渡シタノデハナイノデアル、四十年度十二月ノ賣渡高ト三十九年度及四十一年ノ兩年ノ年末ノ賣渡高ニ比較ヲ致シマスレバ僅ニ二割三分ノ増加ニナッテ居ル、敢テ是ハ適當デハナイ、四十年度十二月ノ賣上高ガ最も多數デアッタノハ、倉庫ニ從來貯藏ヲシテアッタ所ノ煙草ガ澤山ニアッタ、是ハドウモ餘リ賣レガ宜シキ品デナカッタガ故ニ、澤山ナ品ヲ貯藏ニナッテ居ッタ、然ルニ四十年度年末ニ於テ、元賣捌人ヨリ買進ンデ參リマシタニ依リマシテ、此機ニ乘ジテ今ノ貯藏品ヲ捌イタガ故ニ、平年ヨリモ前申シマシタ如ク多數ニナッタノデアル、是ハ販賣署トシテハ大ニ賣捌方ノ却ッテ手際デアッタト云フヤウナコトニ政府ハ感ジテ居ラレマスノデアリマス、尤モ各販賣官署ニ於キマシテ値上後ニ至リマシテ矢張り從前ノ舊定價格ヲ以テ賣捌ヲ爲シタモノ、其他此場合ニ於テ不都合ノ所爲ノアッタ者ハ、ソレノ相當ノ處分ヲ致シ或ハ戒飭ヲ加ヘタノデアル、要スルニ検査院ノ報告ノ如ク全部販賣官署ニ於テ執リ行ヒマシタコトガ不都合ト云フコトデハナイ、尤モ前申シマス通り三十四箇所ノ中ノ取扱ニ付イテハ改正ノ發表後、舊代價ヲ以テ捌キ、或ハ擔保品ノ不足スルニ拘ラズ、多數ノ品ヲ賣渡シタト云フコトハ一二無イデハナイケレドモ、是等ニ付イテハ相當ノ處分ヲ致シタノデアル、然ルニ検査院ハ全部不當ト云フ報告ニナッテ居ルノハ甚ダ遺憾デアルト云フコトヲ政府委員ハ分科會及委員會ニ於キマシテモ反覆辯明ガアッタノデゴザイマス、依ッテ委員會ハ検査院ノ報告及政府ノ説明及答辯ニ依リマシテ十分慎重ナル審議ヲ致シテゴザイマス、政府ノ辯明ニ依リマシテ年度末ニ於テハ、イツモ當リ前ノ月ニ比ベテ見マス则需要供給ノ増加スル爲ニ賣渡高ガ増加スルト云フコトハ委員會モ認メタノデゴザイマス、併ナガラ定價值上ニ當リマシテ各販賣官署ニハ專賣局ヨリ豫告ガ發シテアリマシタノデアリマス、ソレハ煙草ノ代價ガ値上ニナルト云フ事柄デゴザイマス、ソレト共ニ發表マデハ成ルベク其事柄ハ秘密ニ付シマシテ成ルベク過大ノ賣渡ハ避ケマスヤウニ注意ガアルニモ拘リマセズ、各販賣官署ニ於キマシテ三日間ニ過大ノ賣渡ヲ爲シタルコト、又擔保ノ不足ニ拘ラズ賣渡ヲ爲シタルコト、又擔保提供、現金納付ノ爲ニ金庫時間ヲ殊更ニ延長イタサセマシタコト、或ハ値上ノ内報ニ接シ夜間ニ登廳ヲ致シマシテ元賣捌人ト會合シ、又ハ電報ヲ發シ買受ヲ促シタル等ノコト、倉庫ニ停滯ノ品ヲ値上ノ際ニ於キマシテ幸ニ元賣捌人ヨリ買進ミノ機ニ乘ジテ賣捌ヲ爲シタルノハ其宜シキヲ得ナイモノデアル、以上述べル所ノ理由ニ依リマシテ定價值上ニ際シ特ニ注意アルニモ拘ラズ、三日間ニ過多ノ賣渡ヲ爲シ國庫ニ損失ヲ與ヘマシタノハ不當ノ所爲ト認メル、別紙ノ通り決議案ヲ提出シマシタノデゴザイマス、又第二ヨリ第七マデハ検査院ノ報告及政府ノ辯明書ニ對照イタシマシテ各分科會ニ於キマシテハ十分ナル審議ヲ盡シ、主査ノ報告ニ基キマシテ委員會ハ尙ホ審議ヲ重ネマシテ、昨年ハ決算委員會ノ報告ハ一ノ事項ニ止メテゴザイマシタケレドモ、四十年度ノ決算ニ對シマシテ事柄ノ輕重ヲ圖リマシテ、ソレノ區別ヲ致シマシテ決定ヲ致シタノデアリマス、其事項ハ委シク御説明ヲ申シマセヌ、尙ホ其委シキコトハ委員會ノ速記ニモ載リマスデゴザイマスカラ御承知ヲ願ヒタイ、併ナガラ第二以下ノ事項ニ付キマシテ右述べマシタ如ク區分ヲ分チ又御不審ノ點ガゴザイマスレバ、是ハ各分科ノ主査又其事柄ニ依リマシテハ政府委員ヨリ詳ニ御説明ヲ致スコトニ願ヒマス

〔男爵野田裕通君演壇ヲ降ル〕

○男爵野田裕通君 私ハ此決算ノ事ニ付イテ聊カ所見ヲ述べタイト存ジマスガ、御許シニナリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 御登壇ヲ願ヒマス

〔男爵野田豁通君演壇ニ登ル〕

○男爵野田豁通君 私ハ決算ニ就キマシテ聊カ所見ヲ述べ政府ノ考慮ヲ求メ
タイト存ジマス、此事ニ付キマシテハ決算委員會ニ於テ親シク政府ノ意向モ
伺ヒ、併セテ所見ヲ述べタイト存ジテ居リマシタケレドモ、決算委員會ノ當
日マデハ所見ニ要シマス所ノ統計上ノ材料ガ整ヒ兼ネマシタ爲ニ今日議會ノ
閉會ニモ接シテ居リマスニ拘ラズ此演壇ニ於テ申述べマスノハ少シク仰々シ
ク諸君ノ御感ジモアラウカト存ジマスケレドモ、暫クノ間ドウゾ時間ヲ御與
ヘテ願ヒマス、元來決算ハ豫算ニ基キ會計法規ノ定ムル所ニ從ヒマシテ收支
命令ヲ實行シ其結果、計算シタモノガ即チ決算デアリマス、然ルニ議會開設
以來、會計法其他會計補則、會計規則ノ如キ追々諸法規モ發布ニナリ、豫算
編製モ追々修正ヲ加ヘ、豫算費用區分等ノ如キモ以前ニ較ベマスレバ餘ホド
明瞭ニナツテ參リマシタコトデゴザイマス、而シテ之ニ伴ヒマス所ノ決算ハ
如何デゴザイマスト申セバ、遺憾ナガラ是ハ總テノ法規等ニ伴ッテ未ダ整理
ノ效果ハ十分舉ガツテ居ラスト申サネバナリマセヌ、既ニ本年提出ニナリマ
シタ所ノ四十年年度決算ノ如キハ就中検査院ノ報告ガ法律違反及不當支出ノ事
項ガ多イデハアリマセヌカ、之ニ對シマシテ政府委員ハ過去ノ年度ニ比スレ
バ豫算ノ額ガ多クナツテ參リマシタ爲ニ自然、會計検査院ノ報告モ増加スル
ヤウナコトニナツテ參ッタト云フコトモ聞キマシテゴザイマス、成ルホド金
額ガ多クナリマスレバ検査院ノ報告モ從ッテ増加スルト云フコトハ、是ハ一
應ノ理窟デゴザイマスルケレドモ、今日検査院ノ報告ニ就キマシテ考ヘマス
レバ、唯今申ス如ク豫算金額ガ殖エタ爲ニ検査院ノ報告モ増加スルト云フコ
トヲ以テ尤モナリト云フコトハ……ドウモ判定スルコトハ是ハ他ニ大ナル原
因ガアラウト私ハ考ヘマス、故ニ私ハ其原因ヲ攻究シマス爲ニ最近五箇年間
ノ検査院ノ報告書ニ依リマシテ統計ヲ作ッテ見マシタ、其統計ノ示シマス所
ハ豫算及法律勅令違反事項ハ、歳入ノ部ニ於キマシテ三十六年度ハ六十五件、
三十七年度ハ百二十八件、三十八年度ハ十四件、三十九年度ハ四十一件、四十
年度ハ五十九件、五箇年間ノ合計ハ三百七十七件、歳出ノ部ニ於キマシテ三十六年
度ハ三十六件、三十七年度ハ三十三件、三十八年度ハ十七件、三十九年度ハ三
十件、四十年年度ハ六十件、五箇年間ノ合計百七十六件、其他ノ事項ハ三十六年
度ハ一件、三十七年度ハ二件、三十八年度ハ六件、三十九年度ハ三件、四十年

ハ二件、五箇年間ノ合計ガ十四件デアリマス、又臨時軍事費ノ決算ニ於キマ
シテハ、歳入ガ三件、歳出ガ四十九件、合計五十二件デアリマス、此統計ニ
依リマシテ各省ノ各年度ニ分チ類別ヲ致シテ見マスレバ、陸軍省ガ一番多數
デゴザイマス、其次ハ遞信省デゴザイマス、ソレカラ海軍省デゴザイマス、
外務省ハ、五箇年間皆無デゴザイマス、尤モ此陸軍省ノ検査院ノ報告ニ係ル
モノガ一番多數デアルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ少シク其理由ガアル
モノト私ハ認メテ居リマス、ソレハ皆様モ御承知ノ通り陸軍省ハ他ノ金額ニ
對シ最モ多額デゴザイマスルノミナラズ、内地ニ於キマシテモ、臺灣、樺太、
對州、殊ニ滿韓地方ニモ各所ニ軍隊ガ派遣ヲ致シテ居リマス、故ニ命令官モ
陸軍大臣一人デナクシテ、三十名以上ノ支出命令官ガゴザリマスルガ故ニ、
他ノ各省同様ニ單純ノ費用ヲ大臣ノ手許ニ統一セラル、ヤウニハ自然參リ兼
ネマスデゴザイマセウト思ヒマス、遞信省、海軍省ノ如キモ、矢張り陸軍省
ノ如ク困難ノ爲ニ自然、命令官ノ法規ノ解釋等モ一定イタシ兼ネマスノデア
ラウト思ヒマス、又各省ノ豫算金額ト申シマスモノモ、大ニ増減ガアリ、増
減ト申シテハ或ハ何デアリマセウガ、多イ所ト、豫算額ノ小サイ金額ノ少ナ
イ所ガアリマス、故ニ前申述べマス所ノ検査院報告ノ件數ヲ直チニ統計ニ
舉ゲマシテ、其統計ノ件數ヲ以テ各省ノ件數ノ多寡ヲ論難イタシマス云
フコトハ、是ハ少シク的ヲ外レルデアラウト考ヘマス、故ニ尙ホ此五箇年間
ニ於ケル各省ノ決算額ト違背事項トノ金額ガ、如何ナル割合ニナツテ居リ
マスカ、又之ヲ統計ニ作ッテ見マシテゴザリマス、其統計ハ歳入ハ決算額百
萬圓ニ對シ、違背事項ノ金額ハ三十六年度ハ百十四圓、三十七年度ハ百八
圓、三十八年度ハ三十圓、三十九年度ハ八百十八圓、四十年年度ハ千五百二
十圓、歳出ハ百萬圓ニ付キマシテ、三十六年度ハ二千八百十圓、三十七年度
ハ二万三千六百八十圓、三十八年度ハ三百四十八圓、三十九年度ハ五百四
十三圓、四十年年度ハ千六百五十圓、外ニ臨時軍事費ハ八百六十圓、唯今申述
ベマス所ノ歳出ノ三十七年度ニ於キマシテ最モ多額ノ金額ガ現レマシタノ
ハ、是ハ百三十銀行救済ノ爲ニ六百萬圓ダケ不當ノ中ニ算入ヲ致シテアリマ
ス、ソレガ故ニ斯ク大キナ金額ガ現レマシタノデゴザイマスル、此年度ノ金
額ハ平常ノ比較トハナリ兼ネマセウト思ヒマス、右述べマス所ノ統計ノ金
額ハ、是ハ合計ヲ申上ゲマシタノデゴザイマシテ、五箇年間各省毎ニ検査院
ノ報告事故ヲ類別イタシマシテ、委シク統計ヲ拵ヘマシテゴザイマスケレド

モ、今日此席ニ於キマシテ、之ヲ讀上ゲマストキニハ長イ時間ヲ費ヤシマス
カラ、是ハ政府ノ考慮ヲ煩ハシマス爲ノ材料ト致シマシテ速記録ニ掲ゲ置ク
コトニ致シマスルカラ、宜シク是ハ皆様モ御一覽ヲ煩ハシタイノデゴザイマ
ス

〔參照〕

自明治三十六年度
至明治四十年度
總決算検査表

豫算及法律勅令違背事項各省別件數

歲	入	出	歲出內譯	三十六年度	三十七年度	三十八年度	三十九年度	四十年度	合計
外務省	六五	一二八	一四	四一	五九	三〇七			
內務省	六	七	〇	〇	〇	〇			
大藏省	二	九	一	一	一	一			
陸軍省	七	三	一	一	一	一			
海軍省	五	五	二	二	二	二			
司法省	五	一	二	二	二	二			
文部省	一	一	一	一	一	一			
農商務省	一	一	二	二	〇	〇			
遞信省	九	六	五	七	五	三			
其他	一	二	六	五	二	一			
合計	一〇二	一六三	三七	七四	一二一	四九七			

外ニ臨時軍事費決算ニ於テ

歲入	三
歲出	四九
其他	〇
合計	五二

備考(一)

一 之ニ依リテ見レハ歲出ノ部ニ於テハ陸軍省所管ニ違背事項最モ多ク遞
信省海軍省之ニ次ク而シテ外務省ニ到リテハ例年皆無ニシテ文部省農
商務省之ニ次テ少シ

二 歲入ノ部ハ大部分大藏省所管ナルヲ以テ之レニ歲出ノ部中同省ニ屬ス
ルモノヲ加算スレハ其事項ハ最多シ

三 臨時事件費ニ屬スルモノハ殆ント總テ陸海軍兩省ニ屬スルモノナリ

四 歲入歲出ニ對シテ其ノ他ト稱スルハ國債、官舎官有物ノ處分ニ關シ其
ノ當ヲ得サルモノヲ指ス以下之ニ同シ

五 検査報告ノ末尾ニ添フル所ノ既往年度未確定ノ金額ニ對スル検査ハ總
テ之ヲ加算セス蓋シ當年ノ總決算ニ關係ナケレハナリ

豫算及法律勅令違背ノ事項類別件數(一)

歲	入	出	其他	合計
三十六年度	六五	三六	一	一〇二
三十七年度	一二八	三三	二	一六三
三十八年度	一四	一七	六	三七
三十九年度	四一	三〇	三	七四
四十年度	五九	六〇	二	一二一
合計	三〇七	一七六	一四	四九七

外ニ

豫算及法律勅令違背ノ事項類別件數(二)

歲入ノ部細別	不法會計法第二 十四條違背	不當	合計
三十六年度	三	六二	六五
三十七年度	六	一二二	一二八
三十八年度	一二	二	一四
三十九年度	二七	一四	四一
四十年度	三九	二〇	五九
合計	八七	二二〇	三〇七

外ニ

豫算及法律勅令違背ノ事項類別件數(三)

歲出ノ部細別	臨時軍事費	合計
臨時軍事費	〇	三

不 法
會計法第十
二條違背
會計法第二
十四條違背
不 當
合 計

三十六年度	五	六	二五	三六
三十七年度	一	七	二五	三三
三十八年度	二	一	一四	一七
三十九年度	八	四	一八	三〇
四十年年度	一三	二一	二六	六〇
合 計	二九	三九	一〇八	一七六
外ニ				
臨時軍事費	八	〇	四一	四九

備考(二)

- 一 三十八、九年度ニ於テ違背事項ノ甚少キハ臨時事件費ニ關スルモノヲ分割シタルニ因ルコト少カラサルヘシ
- 二 三十七年度歳入ノ部ニ於テ違背事項多キハ非常特別税ノ創始ニ原因スルコト少カラサルヘシ
- 三 検査報告ノ所謂「不法」トハ會計法第十二條及第二十四條違背ヲ云フモノニシテ其ノ他ハ皆ナ「不當」ト稱スルモノニシテ其態様ハ各個ノ事實ニ依リテ一ナラス

決算總額及違背事項金額ノ比較

一 歳入ノ部

決 算 總 額	違背事項金額	決算額百万圓ニ對スル違背事項金額
三十六年度	二六〇、二二〇、七五八	二九、七七九
三十七年度	三二七、四六六、九三五	三五、六四八
三十八年度	五三五、二五六、三九一	一六、五七七
三十九年度	五三〇、四四七、八〇六	四三三、九八八
四十年年度	八五七、〇八三、八一六	一、三〇二、八八九
合 計	二、五一〇、四七五、七〇六	一、八一八、八九一
外ニ		
臨時軍事費	一、七二一、二二二、二五六	一四六

決算總額及違背事項金額ノ比較

二 歳出ノ部

決 算 總 額

決 算 總 額	違背事項金額	決算額百万圓ニ對スル違背事項金額
三十六年度	二四九、五九六、一三一	七〇一、四三八
三十七年度	二七七、〇五五、六八二	六、五六〇、七八三
三十八年度	四二〇、七四一、二〇四	一四六、六二四
三十九年度	四六四、二七五、五八三	二五二、四〇五
四十年年度	六〇二、四〇〇、九五九	九九四、三四〇
合 計	二、〇一四、〇六九、五五九	八、六五五、五九〇
外ニ		
臨時軍事費	一、五〇八、四七二、五三八	一、二九七、〇四九

備考(三)

- 一 決算總額ト違背事項金額トノ比例ヲ精確ナラシメント欲セハ先ツ決算總額ヨリ検査未確定ノ部分ヲ検査シタル後計算セサルヘカラサルノ理ナリ然レトモ其ノ金額ハ極メテ少ニシテ比例數ニ影響セサルヲ以テ今之ヲ控除セス
- 二 歳入ノ部臨時軍事費ニ關スル違背事項金額ハ極少ニシテ百万圓ニ對シ僅カニ拾錢餘ニ過キス故ニ表中ニ現ハレス
- 三 圓以下ノ金額ハ總テ之ヲ省略セリ
- 四 三十七年度歳出ノ部ニ於ケル違背事項金額ノ夥シク大ナルハ百三十銀行救済ノ爲メニナシタル六百万圓ノ支出ヲ不當トナシタルニ因ル

唯今述ベマスル所ノ検査院報告ノ件數及決算金額ニ對スル歩合金額、又各省年々ノ豫算金額モ年々異ナリ居リマスルガ故ニ、右述ベマスル所ノ統計等ニ依リマシテ、今日検査院ノ非難ニ係ル報告ニ付イテ、其原因ヲ攻究イタシマスルニハ甚ダ苦ム次第デゴザリマス、會計制度ハ年々逐ウテ整理シアルニ拘ラズ之ニ伴フベキ検査院ノ決算ニ對スル検査報告事項ハ少シモ減少イタシテ居ルト云フコトハ認メラレナイノデアリマス、然ラバ其原因ハ何レニ在ルカト云フコトヲ尙ホ私ハ熟慮イタシマシテゴザイマス、私ノ見ル所ハ前述ベマス通り金額ノ増減ニモ多少ノ原因ハ含ンデ居マセウケレドモ、重モナル原因ハ行政官ト検査院ノ法律ノ解釋ニ原因スルモノト私ハ認メテ居ルノデゴザイマス、デ各省ニ於キマシテハ一項内ノ各目ハ大臣ノ權限内ニ於テ流用スルコトヲ得ルモノデアル、故ニ行政上、必要已ムヲ得ザル費用ハ或ル事項ノ輕重緩

急ヲ圖リ支出スルハ敢テ違法又不當デナイト云フコトニ法規ノ解釋ヲ廣義ニ採ツテ居ラレルデアラウト思ヒマス、又検査院ハ法規ヲ楯ト致シマシテ會計法、會計法補則及會計規則ニ基キマシテ各省ノ豫算及附屬書類、即チ此明細書デゴザイマス、之ニ明記ガナイモノハ豫算外ノ支出、即チ右申上ゲマス所ノ法規ニ照シマシテ検査院ハ法規ノ解釋ヲ行政官ト反對ニ狹義ニ採ツテ居ラル、デアラウト思ヒマス、要スルニ議會ノ決議ハ款項デ決議ヲ致シテゴザイマスガ故ニ、各省ニ於テ解釋ヲ廣義ニ採ラレテ居ル如ク議決科目ノ項ノミ検査院ニ回ツテ検査ヲスルコトニナツテ參リマシタナラバ、今日ノ如キ検査院ノ報告事項ハ少ナイノデゴザイマス、然レドモ検査院ニハ豫算書ノミデナク、之ニ附屬シマス所ノ各目明細表モ回ツテ居リマスガ故ニ、之ニ照シテ検査院ハ検査ヲ致スノデアリマス、故ニ今日ノマ、經過スルニ於キマシテハ此後豫算ノ金額ガ増加イタシマスレバ、從ツテ検査院ノ検査報告モ減ジハ致サズニ尙ホ増加スルデアラウト思ハレマス、然ルニ検査院ノ報告ニ據リマシテ取調ベテ見マスレバ、検査院ノ報告中、半バ、同ジ事柄或ハ同一ノ類似シタ事柄ガ年々多イノデアリマス、之ニ依ツテ見マスレバ、政府及議院モ決算ニ付イテハ豫算ノ如クニ十分ノ注意ヲ拂ハレテ居ラスデハナイカト云フ疑ヒガアリマス、既ニ本年衆議院ニアツテハ大分決算問題ニ付イテハ議論モアツタヤウニ速記録デ見エルノデアリマス、何トカ私ハ將來ニ向ツテ決算ノ整理ヲ圖ルコトニ付イテ攻究ヲ致シタイト思ヒマス、故ニ政府ハ豫算ト決算ト一致セシメマスルコトニ付イテ一層ノ御注意ヲ願ヒ、而シテ検査院ノ報告ハ減少スルコトニ努メラレムコトヲ希望イタスノデアリマス、尤モ政府ト検査院ノ法律解釋ヲ一致セシメルト云フコトハ、是ハ固ヨリ出來得ベカラザルコト、私ハ信ジテ居リマスケレドモ、兩方ノ法律解釋ノ今日ノ見解ノ幅ヲ狹クスルト云フコトハ、是ハ努メマシタナラバ決シテ出來ナイコトデハアリマスマイト存ジマス、ソレ故ニ私ノ考案ヲ述ベマシテ政府ノ御參考ニ供シ、御考慮ヲ煩ハシタイトデアリマス、其私ノ希望ハ唯今申述ベマス通り法律ノ解釋ト云フモノハ是ハ各自ノ自由デアリマシテ、是非之ヲ一致セシメテ貫ヒタイト云フコトハ、固ヨリ私ガ口ニスベカラザルコトヲ申シテモ無駄ナコトデ出來ナイコト、存ジマスガ、希望ヲ述ベマスレバ、検査院ニ於テ違法又ハ不當ト報告ニナリマシタ事項ニ付キ貴衆兩院ニ於キマシテモ検査院ノ報告ヲ是認シマシタ事柄ニ付キマシテハ將來政府ハ之ヲ再ビセラレヌト云フコトノ御注意ヲ願ヒ

タイ、又各省大臣ニ於キマシテ前申述ベマス如ク各項内ノ名目流用ハ行政官、即チ各省大臣ノ權限内ニ屬シ得ラル、モノト云フ解釋ニ依リマスレバ、最初豫算編製ノ際ニ各目流用ヲ爲シ得ラル、ヤウニ注意ヲ致サレテ其事柄ヲ明細書等ニ列記シ置カル、コトニナリマシタナラバ、今日ノ如ク検査院ガ非難イタシマス報告ハ避ケ得ラル、デアラウト思ヒマス、例ヘバ四十年年度決算中ノ陸軍省所管臺灣ニ於ケル將校官舎ノ如キモノ、内務省所管淀川既成低水工事ノ維持修繕費ノ如キモノ、是等ハ繼續事業ニ屬シ早晚是非之ヲシナケレバナラヌ事柄デアリマスノデ、然ラバ斯ノ如キコトハ將來ニ於キマシテハ成ルベキ年度ノ初メヨリ其幾分ヲ豫算書ニ顔ヲ出シテ置キマシタナラバ、年々歳々繼續費ニ對スル検査院ノ非難ハ無イデ済ムデアラウト考ヘマス、是ハ僅ニ一二ノ例ヲ舉ゲマシタノデゴザイマスガ、是ハ各省ニ於キマシテ矢張り將來ハ斯様ナモノハ宜シク當局者ガ注意ニナリマシタナラバ、検査院ノ報告ニハ掛ラナイモノデアラウト存ジマス、又今日ノ法律勅令ニ於キマシテ文字ノ不十分ナルガ爲ニ、検査院ノ解釋ト當該各省ノ見解ガ異ナリマシテ、ソレガ故ニ年々検査院ノ報告ニ掲ゲテアルモノガアルノデゴザイマス、其例ノ一ツヲ申上ゲマスレバ、陸軍省所管ノ建築費中ニ勤勉手當ト申スモノガゴザイマス、是ハ當局者ニ就イテ尋ネマスレバ、是非給與ヲシナケレバナラヌモノデアル、其検査院ノ解釋ト云フモノハ、現業云々、タシカ現業ト記憶シテ居リマスガ、此現業ト云フ字ガ、検査院ハ狹義ニ採リ、陸軍省ハ之ヲ廣義ニ解釋シテ居ラレマスノデ、是ハ是非一致シナケレバナラヌト云フコトハ、先刻申上ゲマス通り法律ノ解釋デゴザイマスカラ、大臣ト雖モ是ハ検査院ニ向ツテ其解釋ヲ改メルヤウニト云フコトハ、是ハ出來ナイコトデアラウト考ヘマス、故ニ之ヲ此儘ニ捨テ置キマスレバ、イツマデモ年々斯ノ如キ費用ハ報告カラ取除ケルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、是等ハ宜シク政府ガ考慮イタサレマシテ、其法規ガ不備デゴザイマシタナラバ改正ヲ致サレマシタナラバ是ハ將來無クテ済ムコトニナラウト考ヘマス、是ハ唯私ガ本年第三分科ニ入リマシテ此事ニ當リマシタカラ、今日茲ニ掲ゲテ置キマスノデゴザイマスケレドモ、矢張り能ク調ベテ見マシタナラバ各省ニモ是等ノ類ガアラウカト考ヘマス、又豫算ノ編製ノ當時ハ未定デゴザリマシテ、豫算ニ掲ゲテナイ事柄デゴザリマシテ、年度半バニ於テ行政上ノ必要カラ、是非其事ヲ實行シナケレバナラヌト云フ費用ノ如キモノニシテ、當該大臣ハ項内ノ流用ヲ以テ其事ヲ支辨

シ得ルモノト認メラレ、初メ豫算編製ノ當時ハ未ダ其事ガ未定デゴザイマシ
タガ故ニ、豫算ニハゴザリマセヌケレドモ、事柄ノ重大、且ツ大臣ハ行政
上、前申シマス如ク各目ノ流用ヲ以テ實行セラル、コトハ權限内デ差支ガ
ナイト云フ解釋ヨリ之ヲ斷行サル、場合ニハ、其事柄ヲ各省大臣ハ検査院ニ
通牒ヲ致サレテ、其事ヲ明カニシテゴザリマシタナラバ、今日マデノ如ク貴
衆兩院ニ於キマシテモ、唯検査院ト各省ト法律ノ解釋ノ異ナルガ爲ニ、種々
ノ審議ヲ盡シテ判斷ヲスルト云フコトハ無クシテ、唯今申述ベマス如ク其理
由ヲ明カニシテゴザリマシタナラバ、議院ニ於キマシテモ法律ノ解釋ノ判斷
デナクシテ、事實問題ニ付イテ判定ヲスルコトガ出來ヤウト思ヒマス、今日
ノ如ク検査院ノ報告ニ對スル各省ノ辯明、説明等ハ、唯法律上ノ解釋ガ甚ダ
煩ハシクナツテ居リマスガ故ニ、決算會ニ於キマシテモ大キニ迷フ所ガアル
ノデゴザイマス、唯今述ベマス所ハ政府ニ對スル希望デゴザイマスガ、是ヨ
リ検査院ニ對シマシテ少シク希望ヲ述ベテ置キタイト思ヒマスケレドモ、或
ハ議會ニ於テ述ベマス所ノ事柄ハ検査院ニ對シテハ無益デアラウカト存ジマ
スケレドモ、序デニ一言附加ヘテ置キマス、同院ニ於テ検査ノ結果、違法又
ハ不當ト認メラレマス事項ガアリマス場合ニ於テハ、紙上ノ検査、即チ書付
ノ上ノ計算書ニ依ツテ検査ヲ致サル、ニ止メズ、既ニ違法、不當ト検査院ニ
於テ認メラレマスモノハ、ドウカ之ニ付イテハ實地検査ヲ行ハレムコトヲ私
ハ希望イタスノデアリマス、今日マデノコトニ致シマスレバ、紙ノ上ノ検査
デゴザイマスカラ致シマシテ、畢竟法律ノ解釋上ニ付イテモ餘ホド複雑ニ互
リマス、其實地検査ヲ行ヒマスニ當リマシテ最モ異ナル重大ナルモノハ當該
ノ命令官ノミナラズ、尙ホソレ等ノコトニ付キマシテハ宜シク當該大臣ニ直
接辯明ヲ求メラル、コトニナリマシテ、其事柄タルヤ豫算ニハ明記ナキモ行
政上必要已ムヲ得ナイ事項アルガ故ニ、大臣ハ權限内ニ依ツテ命令ヲ執行
セラル、ト云フガ如キコトハ検査院ノ報告ニ前申シマス通り明カニ其事ヲ書
イテ置イテ貰ヒタイノデアリマス、萬一年度半バニシテ豫算金額ニ餘裕ガ生
ズル爲ニ豫算外ノ仕事ヲ實行ニナツテ居ルト云フコトヲ實地検査ノ上ニ發見
セラレマシタナラバ、ソレ等ハ又其實事ヲ詳ニ掲ゲテ置イテ貰ヒタイノデ、
今日ノ如キハ多クハソレガ雙方解釋ノ違ヒヨリ生ジテ居ルモノガ多イノデア
リマスカラ、是等ハ此儘置キマスレバ前ニ申述ベマシタ通り益、將來検査院
ノ報告ガ増加シマスノミデ、ドウモ減ズルト云フコトガムツカシカラウト思

ヒマス、右述ベマシタ所ハ私一個ノ所見デゴザイマスカラ、或ハ是ハ當局者
ニ於テ見ラレマシタナラバ理想的ノ事柄デ、實地ニ之ヲ行フト云フコトハ、
ムヅカシイコトデアアルカモ知レマセヌケレドモ、是ハ私ガ誠心ヲ以テ將來檢
査院ノ報告ヲ減ズルヤウニ政府ノ御考慮ヲ求メマス爲ノ材料ニ外ナラナイノ
デアリマスカラ、ドウカ之ヲ一席ノ笑話ニ附セラレズ、此統計表及私ノ聊カ
述ベマシタル所ノ各、事柄ヲ宜シク御考慮クダサレマシテ何トカ決算上ニ付
イテノ整理ト云ヒマセウカ、注意ヲ願ヒタイノデゴザイマス、要スルニ私ハ
唯今述ベマシタル所ノ趣意ヲ纏メテ申シマスレバ、政府ハ豫算ニ基キ收支命
令ヲ嚴シシ、將來成ルベク検査院ノ検査報告ヲ減少スルノ途ヲ攻究アラムコ
トヲ希望スト云フニ外ナラヌノデアリマス、甚ダ會期切迫ニモ拘ラズ長々思
論ヲ申上ゲテ恐縮ニ堪ヘマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 採決イタシマス、委員長ノ報告ヲ可トスル諸君ノ
起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 電氣事業法案ニ付イテ衆議院ヨリ通牒ヲ得マシタ
カラ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

電氣事業法案

右案ニ付本院ハ貴院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セリ因テ議院法第五十
五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求候也

明治四十三年三月二十二日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

本院ハ電氣事業法案協議委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セリ此段及通知候也

明治四十三年三月二十二日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 唯今御聴キニ相成リマシタ通りノ通牒ヲ得マシタ

カラ此際議事日程ノ變更ノ必要ガアラウト考ヘマス、直チニ協議委員ノ選舉ヲ行ヒタク思ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 此選舉ハ議場デ選舉ナサイマスカ、一應諸君ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○伯爵徳川達孝君 議長指名ヲ希望イタシマス

○伯爵大原重朝君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 徳川伯爵ノ協議委員選定ヲ議長ニ委ヌルト云フコトデ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ協議委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

電氣事業法案兩院協議委員

伯爵柳原 義光君 子爵鳥居 忠文君 子爵有馬 頼之君

淺田 徳則君 前田 正名君 男爵田 健治郎君

男爵中島 久万吉君 千坂 高雅君 石黒 五十二君

市川 文藏君

○議長(公爵徳川家達君) 會期ガ切迫シテ居リマスカラ協議委員ハ議長副議長ヲ成ルベク速ニ選舉アラムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十二、行政執行法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、三宅君

行政執行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十九日

右特別委員長

三宅 秀

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔三宅秀君演壇ニ登ル〕

○三宅秀君 是ヨリ行政執行法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ去ル十六日ニ委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ、其次

二十九日ニ委員會ヲ催シマシタ、此折ニハ委員ハ九名ナガラ缺員ナク出席ニナリマシテ、政府委員ハ兩名、此法案ニ直接ノ關係ヲ有シテ居ラレル所ノ警保局長ト衛生局長トガ御出席ニナリマシタ、ソレヨリ致シテ此案ガ御承知ノ如ク衆議院ノ提出案デゴザイマスカラ、案ノ性質、成立ニ付キマシテモ一應ノ説明ヲ請ウテ置カナケレバナリマセスシ、又政府ノ意向モ承ラナケレバナリマセスカラ、當該政府委員ヨリ逐一承リマシテゴザイマス、ソコデ此行政執行法ノ第三條ト云フモノハ現行法ノ第三條ト略、同ジヤウナモノデゴザイマス、詰リ是ハ花柳病豫防ト云フコトノ方ニ重キヲ置イテ密賣淫者ヲ處罰スルト云フコトガ第二ノ目的トナッテ居リマスデゴザイマス、是マデノ法デゴザイマスルト、多少目的ヲ達シテハ居リマスルケレドモ、未ダ全ク達スルト云フコトニハ參リ兼ネテ居リマスル、幾分カ法律ノ内ニ緩イ所ガゴザイマスルノデ、之ヲ一層周密ニ致シテ、詰リ密賣淫者ノ身體檢査ヲ厲行スル、隨ッテ有病ト認メマスレバ之ヲ強制シテ醫治ヲ加ヘシメル、斯ウ云フコトヲ現ニヤッテ居リマスルヨリハ一層嚴重ニスル、周到ニスル、斯ウ云フ改正法ノ意味デアリマス、ソレカラ治療費ノ負擔ニ付キマシテモ、此度ノ改正ハ一層其出所ヲ明カニ致シタヤウナ改正ノ意味デゴザイマス、ソレ故ニ政府ニ於キマシテハ、花柳病豫防ガ一層周到ニナルコトデアリマスルカラ、勿論異議ハ無い、同意シタト云フコトデゴザイマス、引續キマシテ委員カラ澤山ノ質問ハ起リマシテゴザイマス、一々申上ゲマスルト却ッテ煩ハシイデゴザイマセウト存ジマスルカラ一々ハ茲デハ申上ゲマセス、併ナガラ一二ノ點ニ付キマシテ修正意見サヘモ起リマシタコトデゴザイマスルカラ、マルデ質問ノ箇條ヲ申上ゲマセス譯ニモ參リマスマイカト存ジマスルノデ、一二ノ質問ノ箇條ヲ申述ベテ置キタイト存ジマス、ソレハ第三條ノ一番初マリニゴザイマス「前科者ニシテ尙密賣淫ノ常習アル者」ト云フヤウナ文字ガ此度新ニ這入りマシタノデゴザイマスルカラ……改正トシテ這入りマシタノデアリマスカラ此點ノ所ヲ頻ニ反覆質問ガ出マシテ、政府委員ノ答辯モゴザイマシタ、尤モ委員中ニ此點ヲ氣遣ッテ居ラレマスノハ「密賣淫ノ常習アル者」ト云フコトニ付イテハ何ヲ以テ之ヲ密賣淫ノ常習アル者ト認ムルカ、或ハ又常習ト云フ文字ハ刑法ノ内ナドニモ出テ居ルガ、ソレト是トハ少シク常習ト云フ文字ノ

意義モ違ッテ居ルヤウデアルガ、同ジデアルカ、違ッテ居ルノデアルカ、斯ウ云フヤウナ問題モ起リマシテ、ソレニ對シテ一々政府委員カラ答辯ガゴザイマシテ、元々此法案ノ精神ト云フモノガ何クニアルト云ヘバ、花柳病豫防ノ方デ、密賣淫ノ罪ヲ犯シテソレヲ罰スルト云フ方ハ第二ニアルノデアルカラ、捕ヘテ身體検査ヲ行フ、強制的ニ醫治ヲ加ヘシメルト云フコトニ重キヲ置イテアルノデアルカラ、假令此常習アル者ト云フコトノ見込違ヒヲ致シタ所ガ、當人ヲ罰スル譯デモナイ、ソコニ罪ガ成立ツト云フ譯デモナイカラ、其邊ノ所ハ極輕クシテ置ク積リデアルト、斯様ナ説明デゴザイマシテ、格別人權ヲ蹂躪スルノト云フヤウナ嫌ヒハ無イヤウニ認メマシテゴザイマス、ソレデモマダ此邊ノ所ハ今少シ字句ノ修正デモ加ヘテシタラ宜カラウト云フ御考ヘノ委員モゴザイマシタ、尙又此費用負擔ノ點ニ於キマシテモ、今少シ費用負擔ノ模様ヲ變ヘテ見タラ宜カラウト云フ考ヘノ委員モゴザイマシテ、修正ヲ加ヘテ見タイカラ若干ノ日子ヲ考案ノ爲ニ與ヘテ吳レマイカト云フヤウナ議ガ起リマシタ、併ナガラ如何ニモ會期ハ切迫イタシテ居リマスルシ致シマスルカラ到底考案ヲスル爲ノ日子ト云ウテハ此際與ヘルコトガ出來マイト思ハレル、故ニ一二ノ字句ニ付イテノ修正ヲシタイト云フ考ヘヲ有ツタ委員モ其說ハ暫ク撤回イタサレテ、又重ネテ此條ハ改正ヲ要スルヤウナ時機モ到來スルデアラウカラ、此度ハ會期切迫モシテ居ルコトデアルカラ、修正意見ハ見合セヤウ、又更ニ深く考ヘテ見マスルト、例ヘバ此改正ガ出來マシテ委員長カラ報告ヲ致シマシテ滿場ノ御賛成ヲ得マシテモ、丁度唯今協議會ヲ申込シテ居ラレマスノト同ジヤウナ譯デ、衆議院ヘ持ッテ參リマシテ又協議會ナド、云フコトニナリマス、トッノ詰リ本案ガ此會期ニハ成立シナイト云フコトニナリマス、角ヲ矯メテ牛ヲ斃スト云フヤウナ嫌ヒモゴザイマセウカラ、一二箇條ハ修正ヲ加ヘテ見タイト云フ考ヘモゴザイマシタケレドモ、其意見ヲ斥ケマシテ、此度ハ之ヲ可決シヤウト云フコトデ、一人ノ異論モゴザイマセデ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、付キマシテハ右申上ゲマス通リノ譯デゴザイマスカラ、一字一句ノ修正モ致シマセス、簡單ナ僅カ一箇條ノ改正案デゴザイマスカラ、此際讀會ヲ省略セラレテ、ドウ委員長報告通リニ御可決アラムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 委員長ニチヨット質問イタシタウゴザイマス、唯今此三條ノ初メニ方ッテ御説明ガゴザイマシタカラ、大方痒イ所マデ手ガ届クダラウト

思ッテ考ヘテ居リマシタガ、少シマダ足ラヌヤウデアリマスカラ、チヨット伺ヒマス、此初メノ行リニ唯今御説明ノゴザイマシタ「密賣淫犯者」ト云フ言葉ハ是ハ二ツデゴザイマスカ、一ツデゴザイマスカ、其中ノ密賣淫ト云フノハ一ツデゴザイマスカ、是モ二ツデゴザイマスカ、或ハ其下ノ「密賣淫」ト云フ文字ノ下ニ矢張り「犯」ノ字ガアル積リト見テ二ツニ見ルノデアリマスカ、是ガ一ツカ二ツカト云フコトヲ伺ヒタイ

○三宅秀君 御答イタシマス、上ニゴザイマスル「密賣淫犯者」ト云フノハ現行法ニモ、タシカ此通リノ文字ニナッテ居ルト思ヒマス、ソレカラ「前科者ニシテ尙密賣淫ノ常習アル者」ト云フ所ハ「犯」ノ字ガゴザイマセヌ積リナノデゴザイマス、無論理窟カラ申シマスルト、一度密賣淫ヲ致シテ毒ガゴザイマス、之ニ治療ヲ加ヘマシテカラ、再犯ノ折ニハ全ク健全ナ身體ニナッテ居ラナケレバナラヌ理窟デゴザイマスケレドモ、再犯イタシマシタ所デ捕ヘテ身體検査ヲシテ見ルト、有毒デアル、有毒デアレバ必ズ密賣淫者デアルト云フコトハ分ッテ居リマスケレドモ、先刻來度ノ説明イタシマスル如クニ此法案ノ精神ハ密賣淫者ヲ答メルノデハナクシテ、重モニ密賣淫ヲシタラウト云フ者ヲ身體検査ヲスル、ソコデ有毒ヲ發見シタラバ治療スルト云フ所ニ目的ガゴザイマスノデスカラ、此所デハ「密賣淫犯」ト云フ「犯」ト云フ字ハ假令ゴザイマシテモ其方ヘハ目ヲ著ケマセヌデ將來ヲ戒メテ歸ス、將來ヲ戒メテ下ゲル、斯ウ云フ趣旨デアルサウデアリマス、故ニ茲ニハ餘リ「犯」ノ字ハ必要ガ無イノデ「密賣淫ノ常習アル者」ト云フコトデ意味ハ分カルト云フ考ヘデ決議イタシマシタ

○田中芳男君 分リマシタカラ、讀會省略ニ賛成イタシマス

○伯爵德川達孝君 讀會省略ニ賛成

○男爵關義臣君 賛成

○男爵北島齊孝君 讀會省略ニ賛成

○伊澤修二君 賛成

○子爵實吉安純君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○子爵細川立興君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 三宅君ノ讀會省略ノ動議ニ定規ノ賛成者ガアッタ

ト認メマス、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ特別委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵野田豁通君 私ハ軍人恩給法中ノ改正案ノ委員會ヲ唯今ヨリ開キタイノデゴザイマスガ、御許シアラムコトヲ……

○議長(公爵德川家達君) 野田男爵ノ特別委員會ヘ退席ノ要求ハ許可シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔男爵野田豁通君「同法案ノ委員諸君ノ御退席ヲ願ヒマス」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十三、豫約出版法案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、德川伯爵

豫約出版法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十三年三月十九日

右特別委員長

伯爵 德川 達孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵德川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵德川達孝君 豫約出版法案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道イタシマス、極メテ簡單ニ中上ゲマスカラ、ドウゾ其御積リデ御聽キラ願ヒマス、此委員ハ一日開キマシテ慎重ニ審議イタシマシタ、御承知ノ如ク此案ハ衆議院カラ提出ノ案デゴザイマスガ、一應政府委員ニモ承リマシタ、其衆議院ノ提案者ノ意見ハドウデアッタカト云フコトヲ質問イタシマシタ、本案ノ出マシタ大要ハ現今種々ナ書物が豫約出版デ出來マスコトハ實ニ浩瀚ナル書冊モ廉價

ヲ以テ各自ニ頒布サレマシテ、又或ハ今日餘リゴザイマセヌ所ノ書物が豫約デ出版ガ出來マス、即チ此文運ノ隆盛ヲ助ケ、讀書界ニ貢獻スルコトノ多大ナルコトハ申スマデモナイコトデアッタ、誠ニ結構ナコトデアリマス、併ナガラ中ニハ前金ヲ取りマシテ、サウシテ其期日ニ至ッテモ豫約シタ所ノ書物ノ出來ナイヤウナコトガ往々アリマシテ、敢テ詐欺行爲ヲスル譯デハゴザイマセヌガ、矢張り詐欺行爲ノヤウナコトニナル、ソレ故ニ何トカ取締ヲ付ケスケレバ誠ニ誠實ニ豫約出版スル者ガ迷惑ヲ被ムル、斯ウ云フヤウナ理由ヲ以チマシテ本案ガ提出ニナッタト云フ譯デゴザイマス、政府ニ於キマシテモ誠ニ適當ナル法案デアル故ニ、同意デアル、敢テ異存ハ無い、併ナガラ此第四條ノ所ニ保證金ヲ出ス、其所ノ第一號、第二號……一號ニハ「豫約定價十圓未滿ハ金五百圓」二號ハ「豫約定價十圓以上ハ金千圓」此金額ハ保證金トシテハ少シ多クハアリハセヌカ、折角出版業者ガ苦痛ヲ感ゼヌカト云フヤウナ心配モアルガ、先ヅ此クラキハ出セルデアラウ、此クラキノ保證金ヲ出セヌヤウナ者デハ誠ニ不安心デアルカラ差支ナカラウ、斯ウ云フ譯デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテハイロ／＼質問モゴザイマシタガ、大體ニ於テハ誠ニ適當ナル案デアラカラシテ、原案ノ如クニ可決スベキモノト議決ニナッタ次第デゴザイマス、右様ノ次第デゴザイマシテ別ニ修正モ何モ出マセヌデゴザイマシタ、此段ヲ報告ニ及ビマス

〔伯爵德川達孝君演壇ヲ降ル〕

○伯爵德川達孝君 本案ハ別ニ御修正モ出ズ、御議論モゴザイマセヌケレバ、讀會ノ順序ヲ省略サレテ直チニ可決アラムコトヲ希望シマス

○男爵金子有卿君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○男爵辻新次君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○男爵武井守正君 賛成

○男爵關義臣君 賛成

○男爵南岩倉具威君 讀會省略ニ賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 德川伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ對シテ大分賛成ノ御聲ヲ伺ヒマスカラ、定規ノ賛成者ガアッタト認メマス、讀會省略ヲ可トスル

諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ニ對シテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十四、教員ノ待遇ニ關スル建議案、

伯爵德川達孝君外八名發議、會議……建議案ノ朗讀ハ省略シテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、伊澤君

〔左ノ建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

教員ノ待遇ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治四十三年三月十八日

發議者

伯爵德川 達孝

伯爵柳澤 保惠

男爵辻 新次

男爵船 越 衛

男爵久保田 讓

男爵中川 興長

木場 貞長

伊澤 修二

鎌田 榮吉

贊成者

公爵二條 基弘

外百十七名

貴族院議長公爵德川家達殿

教員ノ待遇ニ關スル建議

國家教育ノ改善ハ今日ノ急務ナリ而シテ教育ノ改善ハ良教員ヲ得ルニ非サレハ其ノ效果ヲ收ムルコト能ハス從來教員ノ待遇漸次改良セラルト雖其ノ俸給寡少ニシテ職責ノ重キニ伴ハス隨テ良教員ヲ得ルノ途ニ於テ遺憾ナシトセス政府ハ特ニ小學校教員ノ俸給ニ對シ國庫ヨリ其ノ幾分ヲ補助シ一

層優遇ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム
右建議ス

理由書

教員ノ待遇ハ漸次改善セラルト雖其ノ俸給ハ職責ノ重キニ伴ハス隨テ良教員ヲ得ルノ途ニ於テ遺憾ナシトセス是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

〔伊澤修二君演壇ニ登ル〕

○伊澤修二君 諸君、本員ハ教員ノ待遇ニ關スル建議案ノ理由ヲ説明イタシマス、今日ハ大分多クノ議案モアリマシテ、既ニ時刻モ追々迫ッテ居リマスルコトデゴザイマスルカラ、成ルベク簡單ニ説明イタシタイ心得デゴザイマス、併ナガラ少シク數字ニ係リマシタコトモゴザイマスルカラ、勢ヒ何分カ諸君ノ貴重ナル時間ヲ御容赦ヲ願ハヌケレバナラヌカト存ジマスルカラ、ドウゾ其點ハ御勘辨クダサレルコトヲ偏ニ願置キマス、此本案ニ「國家教育」ト申シマスルノハ、國家ガ自ラ經營スルカ、又ハ他ニ託シテ經營セシムル所ノ教育事業全般ニ互ルコトデアリマシテ、大學モ中學モ小學モ、其他總テ之ニ含マレテ居ルモノデゴザイマスル、而シテ其改善ヲ行ヒマスルノハ、制度ノ方面ヨリト、内容ノ方面ヨリト、此兩面ヨリ行ハレナクテハナラヌモノデゴザイマス、抑、今日ノ教育制度ノ釐革シナクテハナラヌト申シマスルコトハ、我國有識者ノ殆ド輿論トモ認ムベキモノデゴザイマシテ、其中ニモ高等教育ニ就イテ申シマスレバ、大學ニ入ル年限ヲ早ク致シマシテ、又大學ヲ出ル生徒ノ年齢ハ二十一歳デ卒業シテ仕舞フヤウニシナクハナラヌト云フ、此點ニ至リマシテハ、永ク教育界ニ居リマシテ此問題ヲ研究イタシマシタ所ノ教育者モ、又經世濟民ノ著眼點ヨリ此問題ヲ觀察シタル政治家モ、期セズシテ相一致スルニ到達イタシマシタ所ノ結論デゴザイマスル、唯此目的ヲ達スル方法手段ニ至リマシテハ、頗ル錯雜多岐ニ互リマシテ、今日未ダ之ヲ表明スル時機ニ達シマセヌノハ甚ダ遺憾トスル所デゴザイマス、他日諸君ノ冷靜ナル御判斷ニ訴ヘマシテ、其解決ヲ請フノ時モゴザイマセウト存ジマスルガ、今ハ此點ニハ言及イタシマセヌ、ガ茲ニ一言申上ゲテ置キタイコトハ、學制改革トハ申スモノ、大學ヲバ雲ノ上ニ置キマシテ一指ヲモ之ニ觸レ得ズシテ、中學以下ノ制度ニ其改革ヲ止メヤウトスルガ如キコトハ、是ハ無意味、無價值ト申スベキモノデアルト云フコトダケハ茲ニ一言申述ベテ置キタイト考ヘマス、サテ其内容ノ方面ニ就イテ申述ベタイコトハ多クゴザイマス

ルガ、謬ニモ學校ハ教員ナリト申シテゴザイマスル如ク、其内容ノ改善ノ第一義ハ良教員ヲ得ルニ在ルコトデアリマス、故ニ政府ニ於キマシテモ種々教員待遇ノ方法ヲ講ジマシテ、或ハ官等位階ヲ以テシ、又ハ功績ノ表彰ニ依リ、人才ヲ此教育界ニ吸收シヤウト云フコトニ努メラレテ居リマスコトハ、歴々事實ノ上ニ現レテ居リマスル、彼ノ大學教授ノ如キハ無制限ニ官等昇進ノ途ヲ開キマシテ……、併シ年數ハゴザイマスル、現今一ツノ大學ノ中ニ三十餘名ノ一等官ヲ列座サセテ居ルト云フヤウナ有様ニナツテ居リマス、斯ノ如キコトハ實ニ是ハ我が各省……陸軍海軍ヲ始め其他各省ニ互リマシテ類例ノ無イコトデゴザイマス、我國ニ類例ノ無イノミナラズ、外國ニ渡ツテ即チ先進國ニ就イテ其例ヲ求メテ見マシテモ、斯ノ如キコトハ決シテ無イ、世界無比デアルト申シテ宜シウゴザイマス、彼ノ世界第一ノ學術國ト誇リ、無數ノ學者淵藪ノ地ト聞エマシタル獨逸國ニ於テサヘモ、大學教授ハ彼レノ官等ニ致シマシテ高等官四等以上ノハ、兼職ヲスル者ヲ除クノ外ハ決シテゴザイマセヌ、彼レノ官制ハ御承知モゴザイマセウガ、我が官制ト比較スルト、餘ホド四等官ハ低クナツテ居リマスル、其四等官以上ニハ入レナイト云フコトニナツテ居ルト申スコトデアリマス、サリナガラ其大學教授ノ俸給額如何ト申シテ見ルト本俸ガコレ……デ二千圓、増シタ所デ二千五百圓、職務俸ガ九百圓、是ガ最高等デアリマス、又低イ方ヲ申シマスルト云フト本俸ガ八百圓、増シテ是ガ千圓ニナリマセウ、是ガ職務俸六百圓、是ガ最下等ノ俸給デアリマス、我邦ノ中流社會ノ狀態ニ照シテ見マシタナラバ其増俸額ハ餘リ多イトハ申サレマセヌガ、サウ極メテ少ナイトモ申サレマスマイト存ジマスル、然ルニ他ノ官立學校ニ至ツテ見ルト、官等ノ制限ガアリマシテ學校長デモ一等官ニ進ムコトハ決シテ出來マセヌ、教授ニ至リマシテハ何十年勤メテ居リマシテモ唯一人ヲ除クノ外ハ二等官ニサヘ進ムコトガ出來ナイト云フ有様デアリマスル、加フルニ又俸給モ決シテ豐カトハ申サレヌヤウナ姿デアリマス、是ハ諸君ノ能ク熟知ノコト、存ジマスルカラ斯ノ如キコトハ略シテ申上デマセヌデゴザイマス、中學校師範學校ノ教員ニ於キマシテハ如何ナル有様デアルカト申シマスルト云フト、最近十年ノ間ニ漸々其俸給額ヲ増加イタシマシテ、四割五割ト進メマシテ、全國進ジテ今日デハ三割八分九厘ホドノ増ニナツテ居リマス、即チ十年間ニ三割八分九厘ノ増ニナツテ居リマス、故ニ政府當局者ガ意ヲ用キルコトノ厚イノハ是デ見ルコトガ出來マセウケレドモ、其

實額ハ如何、其實地ノ俸給額ハ如何ト申スト云フト、中學校教員ハ平均一箇月四十三圓四十九錢五厘デゴザイマス、師範學校教員ハ四十二圓十二錢、是デ以テ中流社會ノ生活ヲ維持シ體面ヲ保ツテ行カナクテハナリマセヌ、斯ル境遇ニ在リマシテモ尙ホ餘リ生活難ノ歎聲ヲ聞クコトノ少ナイト申シマスルノハ、全ク是ハ教員ト云フモノガ人ノ良知良能ヲ啓發シ最モ尊イ天職ヲ奉ジテ居ルト云フ思想、理想ニ安ンジ居ル教員ガ多イ爲デアラウト存ジマスルガ、抑、優良ナル人材ヲ教育界ニ吸收シヤウト云フ政策ノ上カラハ一日モ看過スルコトガ出來マスマイト信ジマス、是ヨリ以下本問題ニ最モ緊切ナ關係ノ有リマス小學校教員ノ俸給國庫補助ノ點ニ付イテ申述ベマス、諸君ハ我邦ノ小學校教員ノ月俸ハ幾ラデアルカ御承知デゴザイマスルカ、尋常科教員ガ十七圓四十三錢四厘デゴザイマスル、高等科教員ガ二十二圓二十七錢七厘デゴザイマスル、是ガ全國ヲ平均イタシマシタ額デゴザイマス、是ヨリ少ナイモノ、アルコトハ申スマデモナイ、又是ヨリ多イモノモアリマス、十七圓ト申シマスルト實ニ下級ノ勞働者ニモ及バナイト申シテ宜シウゴザイマセウト存ジマス、二十二圓ト申シマスルト下級ノ職工ニモ及バナイト申シテ差支ナカラウト存ジマス、斯ノ如キ狀態ヲ見テ政府當局者ハ漫然ト看過シテ居ルカト申シマスルト、決シテ左様デハゴザイマセヌ、政府ハ國家教育ノ一部ヲ市町村ノ自治團體ニ託シマスルガ爲ニ其費用ノ一部分ハ無論從來支出シテ居ルノデゴザイマス、即チ明治三十三年ニ市町村立小學校國庫補助法ヲ設ケマシテ、爾來年々一百万圓ヲ支出シテ小學校教員ノ年功加俸及特別加俸ニ充テ、居リマスル、即チ此恩惠ニ浴スル教員ハ四万人餘デゴザイマス、又一時斷絶シテ居リマシタ所ノ教育基金ノ利子モ即チ五十万圓ハ當議會ニ於テ決議ニナリマシテ、來年度ヨリハ復舊シテ出ルト云フコトニナリマシテ、即チ其一部ハ教員獎勵費ニ充テラル、ノデゴザイマスケレドモ、右一部分ヲ加ヘマシテモ其受領者ノ數ハ僅カ四万餘ニ過ギマセヌ、而シテ其金額ハ平均一人ニ付キ一圓九十八錢五厘ニ過ギマセヌ、故ニ教員全體ノ俸給ニハ少シモ影響スル所ハゴザイマセヌ、又此獎勵費ノ爲ニ得ル所ノ選奨者ノ數ト云フモノモ數百名デゴザイマス、故ニ薄給ナル教員ハ依然トシテ憫然ナル境遇ニ在ルコトヲ免レナイノデゴザイマスル、然ラバ市町村ノ當事者ヲシテ其俸給ヲ増スコトヲ致サセマセウカ、是ハ甚ダ難イコトデゴザイマスル、御承知アラセラレマスル如ク、市町村費ハ年々ニ増加イタシマシテ、明治三十六年度ニハ九千七百五

十六萬圓餘デゴザイマス、殊ニ四十二年度ニハ一億五千二百一十一萬四千四百五十餘圓、斯様ニナツテ居リマス、其内ニモ教育費ハ他ノ費目ヨリモ最も多額ヲ占メテ居リマシテ、五千八百七十八萬二千二百七十九圓トナツテ居リマス、實ニ此市町村費總額ノ三分ノ一ヲ占メテ居リマス、ソレデ此上ニ市町村ニ教育費ヲ負擔セシムルト云フコトハ、是ハ甚ダ覺束ナイコトデハナカラウカト存ジマスル、茲ニ於テ教員ヲ一層優遇シヤウト云フノニハ、勢ヒ其俸給ノ幾分ヲ國庫ヨリ補助スルヨリ外ニ途ハゴザイマスマイ、而シテ之ヲ國庫ヨリ補助スルト云フノハ、本員等ノ見ル所ヲ以テシマスレバ、是ハ政府當然ノ義務ト申シテ宜シイト存ジマス、今御參考ノ爲ニ先進諸國ノ政府ニ於キマシテドレ程ノ費用ヲ此小學教育ノ爲ニ支出シテ居ルカト云フコトヲ茲ニ申上ゲマセウ、少シ古イ所ノ例デゴザイマスルガ、千九百一一年ニ英國デハ小學校教育ノ爲ニ費ヤシマスル經費ノ總額ガ一億六千七百八十七萬圓餘ニナツテ居リマス、其内國庫ヨリ支出シマスル所ノ金額ガ一億五千五百五十八萬圓餘デゴザイマス、故ニ國庫カラシテ小學ノ爲ニ出シマスル金ハ六割八分強ニナツテ居リマス、又佛蘭西デハ千八百九十七年ニ小學校ノ爲ニ費ヤシマシタ所ノ金額ガ八千九百六十萬圓餘デゴザイマス、其内國庫ノ支出額ガ六千三百二十萬圓餘ニナツテ居リマス、ソレユエ是ハ七割ニナツテ居リマス、小學費全體ノ七割ニナツテ居リマス、其後益、此普通教育ノ爲ニハ英佛兩國ハ非常ニ力ヲ盡シマシテ此支出額ハ非常ニ多クナツテ居リマス、ケレドモ是ヨリ申上ゲマスル此數字ハ決シテ正確ナルモノト云フコトハ申上ゲラレマセウ、種々ナル原因ヨリシテ取集メマシタモノデゴザイマスカラシテ、正確ナル數デアルト云フコトハ、ドウゾ決シテ御認メクダサライコトニ致シタウゴザイマス、併ナガラ大體ニ於テハ中ラズト雖モ遠カラザルモノデアルト云フコトハ茲ニ申上ゲテ苦クナイト存ジマスル、英國ノ千九百六年ノ小學教育費ニ費ヤシマシタル所ノ金額總計ハ何程カト申シマスルト云フト、一億八千三百零三萬圓餘ニナツテ居リマスル、其内、國庫カラ補助シテ居ルノガ九千九百九十一萬圓餘デゴザイマス、地方ヨリ出シテ居リマスル所ガ八千四百十八萬圓餘デゴザイマス、其外ニ寄附金ガ二百九十三萬圓餘デゴザイマス、又佛蘭西ハ總計八千九百九十一萬圓餘デゴザイマシテ、其内國庫ヨリ補助シマシタノガ五千八百五十二萬圓餘、地方費ヨリ出シマシタノガ三千五百五十四萬圓餘、故ニ此兩國ニ於キマシテハ今日デハ小學教育ノ爲ニ支出シマスル金ハ地方費ヨリモ

國庫カラ支出スル方ガ遙ニ多イノデゴザイマス、獨逸ハ如何ナル有様デゴザイマスルカト云フト、此數年前ノ統計ニ依リマスルト、獨逸ハ小學校經費ノ總額ガ一億六千六百十四萬圓餘デゴザイマス、其内國庫補助ガ四千二百三十一萬圓餘デゴザイマス、ソレデ地方費ガ一億二千三百四十八萬圓餘、授業料ガ四千五百萬圓餘デゴザイマス、即チ此國庫補助ハ總額ノ凡ソ二割五分餘ニナツテ居リマスノデゴザイマス、米國ハ如何ト申シマスルト云フト、米國ハ實ニ六億八千三十三萬圓餘ノ金ヲ小學教育ノ爲ニ費ヤシテ居リマス、其内國庫補助ガ九千六百六十三萬圓餘、ソレカラ基本財産ヨリ收入シマスルモノガ三千二百八十二萬圓餘、此基本財産ハ諸君ニモ御承知ノコト、存ジマスルガ、是ハ中央政府ヨリ各州ニ土地ヲ下ゲマシテ其土地ヨリ生ズル所ノ利益金デゴザイマスルカラ、是ハ即チ國庫補助ト見ルベキモノト存ジマスル、ソレヲ二口ヲ合セマスルト一億二千四百四十五萬圓餘ノ國庫補助ニナリマス、而シテ地方費ハ四億五千六百二十四萬圓餘、其他ガ九千九百六十二萬圓餘デゴザイマス、即チ國庫補助ハ總額ノマアザツト二割即チ一割八分二厘ニナツテ居リマス、右申シマスル如ク先進國ノ例ハ實ニ非常ナル國庫補助ノ金額ガ巨額ニ達シテ居リマス、實ニ驚クベキ程ノ金ヲ掛ケテ居リマスノデアリマス、斯ル巨萬ノ否、億若クハ千万以上モ金ヲ小學教育ノ爲ニナゼ費ヤスカト申セバ諸君ノ御承知デゴザイマス通り小學教育ト云フモノハ抑、國民ノ智德開發ノ根源デゴザイマシテ、富國強兵モ其他社會萬般ノ進歩發達ト云フモノハ此教育ヲ外ニシテ他ニ求メルコトハ出來マセウ故デゴザイマセウ、翻ツテ我邦ノ現況如何ト見マスレバ、明治四十年度ノ小學校費ハ總額六千零十四萬七千三百七十九圓デゴザイマス、其内市町村費ハ前キニ申シタル如ク五千八百七十八萬二千三百七十九圓デゴザイマシテ、其内國庫補助ハ百三十六萬五千餘ニ過ギマセウ、其歩合ヲ申シマスルト云フト實ニ唯二分三厘ニシカ當リマセウデゴザイマス、是ハ殆ド先進諸國ノ例ニハ比較スルコトモ出來ナイ程ノ有様デアリマス、併ナガラ現下我邦ノ此國力ヲ以テ先進諸國ニ比シテ見マスレバ、其間ニ懸隔ノアルコトハ申スマデモナク、是ハ事實明瞭ノコトデゴザイマス、其他ニモ彼我大ニ異ナル情勢モゴザイマスル、故ニ一朝俄然トシテ幾千万ト申スヤウナ多額ノ國庫補助ト云フモノヲ望ムト云フコトハ、是ハ斷ジテ出來得ベカラザルコトデゴザイマセウ、故ニ國家ノ財政ノ許ス限リニ於キマシテ幾分ノ補助ヲセラレルト云フコトハ實ニ切望ノ至ニ堪ヘマセウ、幸ニ政府ノ同

意ヲ得マシテ此事ガ行ハル、ニ至リマシタナラバ其金額ノ多少ヨリモ教員ヲ優遇スルト云フノ美舉ニ感ジマシテ、全國ノ小學教員社會ハ靡然トシテ其恩德ヲ仰ギマシテ安ンジテ永ク幼徳ヲ涵養シ、幼智ヲ開發スルノ最モ貴ブベキ教職ニ就キマシテ其地位ニ安ンジ居ルト云フコトハ殆ド疑ヒヲ容レマセヌ所デゴザイマス、從ッテ優良ナル教員ヲ永ク其地位ニ留ムルコトガ出來ルコトモ是ハ自然ノ結果デアラウト信ジテ居リマス次第デゴザイマス、即チ茲ニ時間ノ切迫ヲモ顧ミズ諸君ノ御清聴ヲ煩ハシマシテ本案ノ理由ヲ説明イタシマシタ次第デゴザイマスガ、何卒諸君ニ於カレマシテモ此小學教員ノ惘然ナル狀態ヲ御憫察クダサレマシテ、何卒御賛成クダサレムコトヲ偏ニ希望イタシマス

○石井省一郎君 私ハ此案ニ熱心ナル賛成者ノ一人デゴザイマス、唯今伊澤君ヨリ縷々申述べラレマシタ通り教育上、又地方ノ狀態ニ照シマシテ、緊要ノ事件デゴザイマスカラ、建議案ニ御姓名ノ漏レテ居ル各位ニ奮ッテ御賛成ヲ請ヒタウゴザイマス、且ツ此案ハ極明瞭ナル案デゴザイマスカラシテ、特別委員ニ付セラレズ、直チニ採決アラムコトヲ望ミマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十五、四國貫通鐵道速成ノ請願、第二十六、鹽田地租輕減ノ請願、第二十七、內國產粗糖ニ對シ補助金下付ニ關スル請願、第二十八、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正ノ請願、第二十九、熊本大分間鐵道速成ノ請願、第三十、八代鹿兒島間鐵道速成ノ請願、第三十一、煙草專賣法中改正ノ請願、會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

意見書案

四國貫通鐵道速成ノ件

高松商業會議所會頭小田知周呈出

右ノ請願ハ四國貫通鐵道ノ完成ハ四國ニ於ケル豐富ナル陸海ノ物產ヲ運輸

シ從來阻礙セラレタル商工業ノ發展ニ資スルニ最緊要ナルノミナラス四國ノ住民ヲシテ本州北海道等ニ於ケルト齊シク鐵道ノ便ヲ得シムルモノナルヲ以テ第一期線ニ繰上ケ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

鹽田地租輕減ノ件

兵庫縣赤穂郡坂越村平民奥藤研造外四十五名呈出

右ノ請願ハ鹽田ノ所有者ハ苛重ナル鹽田地租ヲ負擔シ加フルニ近年經濟界不振ノ影響ヲ受ケ殊ニ鹽專賣法ノ施行ニ伴ヒ大ナル打撃ヲ受ケ收支相償ハス困難一方ナラサルヲ以テ其ノ現狀ニ鑑ミ國民負擔ノ均衡ヲ圖リ先ツ鹽田地租率ヲ一分以上輕減セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

內國產粗糖ニ對シ補助金下付ニ關スル件

鹿兒島糖商同業組合組長安田爲信外十一名呈出

右ノ請願ハ砂糖消費稅法改正案ハ臺灣ニ於ケル糖業ヲ過當ニ保護シ内地ノ粗糖業ニ對シ却テ增稅ヲナスノ結果ヲ生シ競争上内地黑糖業者ヲシテ全滅ノ悲境ニ陷ラシムルニ至ルカ故ニ之ニ對シテ相當ノ保護方法ヲ講シ黑糖百斤ニ付一圓同白下糖ニハ一圓五十錢ノ補助金ヲ下付セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正ノ件

山形縣東田川郡大泉村長鈴木作彌外二十七名呈出

右ノ請願ハ小學校教員恩給基金ヲ專ラ國庫ノ支出トナスハ國民教育ノ本義ニ適シ小學校教員優待ノ道ニ合シ市町村ノ負擔ヲ輕減シ市町村行政ノ手數ヲ省ク所以ナルヲ以テ市町村納付金ヲ小學校教員恩給基金ノ一部トナスコトヲ廢止セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

熊本大分間鐵道速成ノ件

熊本商業會議所會頭林千八呈出

右ノ請願ハ熊本大分間ノ鐵道ノ敷設ハ豐肥地方ノ產業ヲ振興セシメ九州全般ノ發達ヲ全ウシ國富ノ増進ヲ促シ人文ノ開發ヲ助長スルニ必要ナルヲ以テ之ヲ第一期線ニ加ヘ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

八代鹿兒島間鐵道速成ノ件

熊本商業會議所會頭林千八呈出

右ノ請願ハ熊本縣八代ヨリ川内ヲ經テ鹿兒島ニ到ル鐵道ノ敷設ハ當ニ產業

ヲ振起シ國富ヲ増加シ人文ヲ開發スルニ緊要ナルノミナラス全線ノ開通ヲ俟テ初メテ十分ナル效益ヲ舉クルモノナルカ故ニ八代川内間ノ線路ヲ鹿兒島川内間ノ線路ト齊シク第一期線ニ加ヘ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

煙草專賣法中改正ノ件

大山田煙草生産同業組合組長青柳與平呈出

右ノ請願ハ煙草專賣法中煙草葉數査定ニ關スル規定ハ收納上ノ犯則者ヲ拘束セムトシテ反テ誠實ナル一般耕作人ヲ過度ニ牽束スルノミナラス査定上ノ手續繁苛ニシテ煙草耕作ノ振興ヲ害スルノ弊アルヲ以テ該規定ノ全部ヲ削除セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 是等ノ請願ハ請願委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三十二、山陰縱貫鐵道速成ノ請願、第三十三、地租輕減ノ請願、第三十四、小學校教員官設鐵道無賃乘車ノ請願、第三十五、關稅免除ノ請願、第三十六、室蘭港灣修築ニ關スル請願、第三十七、膽振日高金山三鐵道速成ニ關スル請願、第三十八、齒科醫學校設置ニ關スル請願、會議

意見書案

山陰縱貫鐵道速成ノ件

山口縣阿武郡德佐村長藤井一郎外十六名呈出
同縣同郡萩町長栗屋幹外二名呈出

右ノ請願ハ山陰縱貫鐵道中今市ヨリ山口附近ニ到ル豫定線路及山陰橫斷鐵道ノ敷設ハ雷ニ石見地方ニ於ケル交通ノ利便ヲ開發シ文化ヲ進メ事業ヲ振興セシムルニ必要ナルノミナラス軍事上重要ナルモノナルヲ以テ縣下樞要ノ地タル濱田町ヲ中心トシテ之ヲ起工シ速ニ竣成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

地租輕減ノ件

愛知縣東春日井郡勝川町平民農河村吉太郎外二百七十四名呈出
同縣寶飯郡下地町平民農日比元三郎外五名呈出

新潟縣古志郡富會龜村平民農安井善三郎外二百三十名呈出
德島縣美馬郡半田村農大久保龜吉外二百二十四名呈出(四通)

石川縣鹿島郡崎山村平民農小林北右衛門外三百十名呈出
佐賀縣佐賀郡川上村農松田茂致外二百四十七名呈出

新潟縣岩船郡關谷村平民農渡邊三左衛門外七十五名呈出
愛知縣幡豆郡福地村平民農名倉庫吉外二十四名呈出

茨城縣多賀郡鮎川村平民村長黑澤弘外三百五十九名呈出(四通)
福井縣遠敷郡遠敷村平民農芝田文藏外五百四十一名呈出(二十二通)

福島縣安積郡小原田村平民農佐藤長藏外九百七十名呈出(六通)
香川縣大川郡五名山村長木村茂一郎外三百七十一名呈出(二十三通)

栃木縣那須郡荒川村平民農鹽谷敏之外千四百九十三名呈出(十四通)
靜岡縣志太郡燒津町平民農秋山俊藏外千五百九十四名呈出(十九通)

富山縣下新川郡大布施村平民農森丘覺平外六千三百八十七名呈出(二通)

愛知縣渥美郡高豐村平民農杉本武平外二十二名呈出
長野縣南安曇郡安曇村平民農有馬彦男外百二十九名呈出

福井縣今立郡國高村平民農小泉六右衛門外十九名呈出
廣島縣高田郡長田村平民農望月角次郎外八百三十三名呈出(十六通)

福島縣耶麻郡盤梯村平民農古川友八郎外二千十六名呈出(十六通)
兵庫縣養父郡八鹿村平民農西村莊兵衛外二百十七名呈出

島根縣飯石郡吉田村平民田部長右衛門外九十九名呈出
青森縣北津輕郡小泊村平民農大西專次郎外千五百三十九名呈出(九通)

同縣青森市大字米町平民吳服太物商上田幸兵衛外千名呈出(六通)
岐阜縣羽島郡福壽村士族農淺井新外七百三十一名呈出

廣島縣安藝郡中山村平民谷口五郎外百七十八名呈出
佐賀縣西松浦郡黑川村平民農松尾久平外四千六百七十名呈出(二十一通)

福島縣大沼郡中ノ川村平民農大竹賢二外六百七十二名呈出(四通)
栃木縣芳賀郡七井村平民農手塚房吉外二十四名呈出

兵庫縣揖保郡石海村平民農尾野孫右衛門外二百八十二名呈出
青森縣南津輕郡中郷村平民農高木仁左衛門外三百四十六名呈出(十四通)

新潟縣岩船郡高根村平民農海沼市藏外四百八十八名呈出(二通)
福島縣田村郡二瀬村平民農松崎金之助外千五百七十九名呈出(二通)

廣島縣豐田郡佐江崎村平民農宗川寅吉外千四百七十六名呈出(十四通)
同縣廣島市竹屋村平民定期米仲立業山內政吉外二名呈出

福井縣坂井郡木部村平民農廣部德兵衛外千十五名呈出(十四通)
千葉縣夷隅郡東海村平民農梶銀藏外千六百六十名呈出(十六通)

青森縣東津輕郡今別村平民農島中多吉外八百名呈出(四通)
靜岡縣小笠郡掛川町平民農山崎百四郎外五十三名呈出

廣島縣豐田郡高根島村平民農柴田武一郎外七十二名呈出(三通)
島根縣鹿足郡木部村平民木村勝治外三百五十五名呈出(六通)

靜岡縣田方郡函南村平民農新井其右衛門外九十三名呈出(二通)
千葉縣安房郡田原村平民農小瀧文太郎外二千四百六十一名呈出(七通)

廣島縣安藝郡戸坂村平民農大田末吉外百六十六名呈出

福井縣今立郡上池田村平民農上島祐一外百十二名呈出

青森縣北津輕郡七和村平民農新谷常廣外二百五十二名呈出

島根縣安濃郡大田町平民農恆松臺太郎外百十四名呈出

奈良縣山邊郡二階堂村平民農松本爲藏外六百九十四名呈出(十二通)

福島縣大沼郡沼澤村平民農加藤文吾外二百七十九名呈出(二通)

新潟縣南魚沼郡石打村平民農岡村貢外二百九十九名呈出

廣島縣山縣郡壬生町平民岡村幾吉外二百七十八名呈出(八通)

福島縣田村郡飯豐村平民農大方助左衛門外三百八名呈出(九通)

香川縣綾歌郡千疋村平民小田伊三郎外七名呈出

右ノ請願ハ各其ノ陳述スル所ニ多少ノ差違アリト雖要スルニ現今農民ハ苛重ナル地租ヲ負擔シ加フルニ近年地方財政ニ伴フ巨額ノ經費ハ悉ク地租額ヲ標準トシテ賦課セラレ收入ノ過半ヲ徵收セラレ又ハ經濟界ノ不振ニ遇ヒ殊ニ米價ノ下落ニ依リテ收支相償ハス其ノ困難一方ナラサルヲ以テ之カ實狀ニ鑑ミ此ノ際地租ノ幾分ヲ輕減セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

小學校教員官設鐵道無賃乗車ノ件

茨城縣北相馬郡高井村平民農中久木周平外二十二名呈出

右ノ請願ハ小學校教員ハ薄給ニシテ餘裕少キヲ以テ學力修養ノ爲旅行セムト欲スルモ到底其ノ目的ヲ達スルコト能ハス斯ノ如キハ國民教育上甚遺憾トスル所ナルヲ以テ公務上其ノ筋ヨリ證明ヲ得テ旅行スル正教員ニ對シ官設鐵道ノ無賃乗車ヲ許可セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

關稅免除ノ件

愛知縣名古屋市區廣井町名古屋製油株式會社長堀内金兵衛呈出

大阪市東區橫堀一丁目平民輸入貿易商萬谷久右衛門外二十二名呈出

右ノ請願ハ棉子ハ肥料ノ原料ニシテ輸入肥料ト同シク之カ關稅ヲ免セラルヘキモノナルニ拘ラス少量ノ油分ヲ含有スル等ノ故ヲ以テ過重ノ輸入稅ヲ課セラルルカ故ニ兪惡ナル棉子肥料ノ輸入年年ニ増加シ國內ノ肥料製造業者等ハ爲ニ廢業轉業ノ悲境ニ陷ルニ至レリ故ニ之カ輸入稅ヲ免除シ以テ農業ノ發展ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

室蘭港灣修築ニ關スル件

北海道室蘭郡室蘭町平民運漕業栗林五朔外百十六名呈出

右ノ請願ハ室蘭港ノ修築ハ北海道拓殖上並帝國ノ海外貿易上最緊切ノ關係ヲ有スルヲ以テ速ニ之ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

膽振日高金山三鐵道速成ニ關スル件

北海道室蘭郡室蘭町平民釀造業谷朝雄外百九名呈出

右ノ請願ハ室蘭港輪西ヨリ函樽線ニ連絡スル膽振鐵道、室蘭線早來驛ヨリ十勝線ニ連絡スル金山鐵道、室蘭線苦小牧驛ヨリ十勝線ニ連絡スル日高鐵

道ノ敷設ハ北海道ノ拓殖上最緊要ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

齒科醫學校設置ニ關スル件

大阪市東區今橋五丁目平民西村輔三外五百七十七名呈出

右ノ請願ハ我國ニ於テハ未タ完備セル齒科醫學校ヲ有セサルカ爲ス學ノ進步遲延タルノミナラス齒科醫師ノ供給モ亦從テ甚乏シク地方ノ齒病者ハ空シク病齒ヲ摩シテ呻吟スルノ外ナキヲ以テ政府ニ於テ相當ノ齒科醫養成機關ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 請願委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三十九、鐵道敷設速成ノ請願、第四十、衆議院議員選舉法改正ノ請願、第四十一、北海道東南部鐵道完成ニ關スル請願、第四十二、青森港灣修築ノ請願、第四十三、飛騨國貫通鐵道速成ノ請願、第四十四、韓國移民法制定ニ關スル請願、第四十五、鐵道敷設ノ請願、第四十六、鐵道速成ノ請願、會議

意見書案

鐵道敷設速成ノ件

鳥取縣日野郡根雨村平民近藤喜兵衛呈出

右ノ請願ハ津山米子間ノ鐵道ノ敷設ハ單ニ地方農工商ノ發展並文化ノ進歩

ヲ促スノミナラス一朝有事ノ日ニ際シテハ軍事輸送上最緊要ナルヲ以テ該鐵道敷設計畫年度ヲ繰上ケ速ニ起工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

衆議院議員選舉法改正ノ件

沖繩縣中頭郡具志川村平民農神村吉郎外六名呈出

右ノ請願ハ衆議院議員選舉法ニ依レハ沖繩縣ハ僅ニ二人ノ議員ヲ選出スルヲ得ルノミスノ如キハ他ノ府縣ト衡平ヲ失スルモノナルヲ以テ議員定數ヲ五人ト改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

北海道東南部鐵道完成ニ關スル件

北海道室蘭郡室蘭町平民釀造業谷朝雄外百三十九名呈出

右ノ請願ハ函館ヨリ膽振口高ヲ經テ十勝ニ到ル鐵道ノ敷設ハ管ニ北海道東南部地方拓殖ノ實ヲ舉クルニ必要ナルノミナラス國家ノ福利ヲ増進スル所以ナルヲ以テ速ニ之ヲ完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

青森港灣修築ノ件

青森市參事會青森市長淡谷清藏呈出

右ノ請願ハ青森港ハ東北唯一ノ對外貿易港タルノミナラス本州北部交通ノ關門ニシテ經濟上軍事上重要ノ地タルモ港灣ノ設備ヲ闕キ不便甚シク國力ノ充實ヲ阻碍スルカ故ニ修築ノ必要ヲ認ムト雖地方ノ資力ヲ以テシテハ企テ及ハサル所ニシテ且國家力此ノ事業ニ對シテ保護ヲ與フルハ適當ナリト信スルニ依リ速ニ相當ノ措置ヲ執ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

飛驒國貫通鐵道速成ノ件

岐阜縣吉城郡古川町長天木安之外十七名呈出
右ノ請願ハ飛驒國ハ交通不便ナル爲無限ノ天產物空シク山野ニ埋没スルノ狀態ニ在リ故ニ飛驒國貫通鐵道ヲ第一期線ニ繰上ケ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

韓國移民法制定ニ關スル件

愛知縣名古屋市南久屋町士族無職業富田耕治外九名呈出
右ノ請願ハ韓國ニ於ケル汽車汽船電車人力車旅館等ハ其ノ設備ノ粗ナルニ拘ラス之カ賃錢宿泊料ノ極メテ高キハ移民ノ障礙タルコト甚シキヲ以テ此等ノ障礙ヲ除キ移民ヲ獎勵スル爲速ニ韓國移民法ヲ制定セラレタシトノ旨

趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

鐵道敷設ノ件

島根縣飯石郡赤名村平民矢飼憐之助外三十八名呈出
右ノ請願ハ廣島ヨリ備後國雙三郡三次町石見國飯石郡赤名、頓原、掛合、三刀屋ノ各村ヲ經八束郡宍道町ニ於テ山陰縱貫鐵道ニ接續シ以テ松江ニ通スル鐵道ノ敷設ハ管ニ該地方交通ノ利便ヲ開發スルノミナラス軍事上行政上及殖產上最緊要ナルヲ以テ第一期線トナシ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

鐵道速成ノ件

北海道釧路郡釧路町雜業秋元幸太郎外六十五名呈出
右ノ請願ハ釧路室蘭間ノ鐵道ハ夙ニ第一期線ニ編入セラレタルモ未タ其ノ起工ヲ見ス而シテ之カ速成如何ハ民業隆替ノ繫ル所ニシテ又洵ニ北海道東海岸地方ノ死活問題ナルヲ以テ速ニ起工ノ詮議アリタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 請願委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四十七、復族ノ請願、第四十八、神社祭典ニ關スル請願、第四十九、鐵道敷設ノ請願、第五十、區裁判所出張所設備ノ請願、第五十一、豐肥鐵道速成ニ關スル請願、第五十二、日豐鐵道速成ニ關スル請願、第五十三、山陽大嶺支線延長ノ請願、會議

意見書案

復族ノ件

熊本縣玉名郡木葉村平民農高田重藏外四十三名呈出

右ノ請願ハ請願人等ハ舊熊本藩ニ於テ地士郡宰直觸ト稱シタル無祿士族或ハ其ノ相續人又ハ舊藩ニ於テ無祿士族タリシ者ニシテ明治五年熊本縣廳ノ臨時處分ニ依リ不當ニ落籍セラレタリ故ニ該處分ノ誤謬ヲ格正シ之ヲ無祿世襲士族ニ編入セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

神社祭典ニ關スル件

大阪府三島郡清水村平民農中村幾太郎呈出

右ノ請願ハ神社ノ祭典ニシテ風教ノ興隆國運ノ發展ニ有益ナルモノハ之ヲ獎勵シ請願人私案ノ如キ方法ニ依リテ之ヲ舉行セラレ又其ノ弊害アルモノハ之ヲ除カレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

鐵道敷設ノ件

富山縣下新川郡魚津町平民商關口彦三外三十九名呈出

右ノ請願ハ富山縣下新川郡内ヨリ長野縣松本驛ニ達スル鐵道ノ敷設ハ當ニ地方ノ福利ヲ増進スルノミナラス軍事上緊要ナルヲ以テ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

區裁判所出張所設備ノ件

大分縣大野郡牧口村長市万田虎人外四名呈出

右ノ請願ハ大分縣大野郡牧口村大字砂田ハ緒方郷ト稱スル地方ノ中心ニシテ小市街ヲナシ物貨集散ノ要地ナルモ同地方ノ登記事務ハ三重町所在ノ區裁判所ノ管轄ニ屬シ距離遠クシテ不便甚シキヲ以テ該地ニ竹田區裁判所出張所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

豐肥鐵道速成ニ關スル件

大分縣直入郡白丹村平民農佐藤孫三郎外三十六名呈出

右ノ請願ハ熊本大分間ノ鐵道ノ敷設ハ大分港ノ修築ト相俟チテ交通運輸ヲ圓滑ナラシメ當ニ九州東部地方ノ富源ヲ開發スルノミナラス人文ノ發達ニ緊要ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

日豐鐵道速成ニ關スル件

大分縣直入郡白丹村平民農佐藤孫三郎外三十六名呈出

右ノ請願ハ大分ヨリ宮崎ニ到ル鐵道ノ敷設ハ大分港ノ修築ト相俟チテ交通運輸ヲ圓滑ナラシメ當ニ九州東部地方ノ富源ヲ開發スルノミナラス人文ノ發達ニ緊要ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

山陽大嶺支線延長ノ件

山口縣大津郡三隅村長伊木尙義外八名呈出

右ノ請願ハ山陽線中大嶺支線ヲ延長シ之ヲ山口縣阿武郡内ニ於テ陰陽連絡幹線ニ連絡セシムルハ當ニ地方産業ノ發達ヲ促スノミナラス國防上緊要ナルヲ以テ明年度ヨリ之カ工事ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五十四、工業原料柞蠶絲輸入免稅ノ請願、第五十五、官設鐵道敷設ノ請願、第五十六、郵便局設置ノ請願、第五十

七、種牛場増設ノ請願、第五十八、關稅定率改正ノ請願、第五十九、黑澤尻横手間鐵道速成ノ請願、第六十、區裁判所出張所設置ニ關スル請願、第六十一、郵便局設置ノ請願、第六十二、鐵道敷設ニ關スル請願、第六十三、大船渡花卷間鐵道速成ノ請願、第六十四、宅地地價特別修正ノ請願、第六十五、金山早來間鐵道速成ノ請願、第六十六、鐵道敷設法ニ關スル請願、第六十七、亞炭鑛業稅減額ノ請願、會議

意見書案

工業原料柞蠶絲輸入免稅ノ件

大阪市東區北久太郎町平民絲商南啓治郎外十八名呈出

右ノ請願ハ柞蠶絲ハ工業原料品ニシテ獨我國ノミ之ニ輸入稅ヲ課セララルハ工業國ノ本旨ニアラス又假令柞蠶繭ヲ無稅ト爲スモ彼我工費ノ差多クシテ之カ輸入ヲ望ムヘカラサルヲ以テ柞蠶絲ヲ純然タル原料品トシ且諸外國ニ於ケルカ如ク該絲ノ輸入稅ヲ免セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

官設鐵道敷設ノ件

巖手縣盛岡市八日町平民商東德治外百六十七名呈出

右ノ請願ハ巖手縣宮古灣ヨリ盛岡ヲ經テ秋田縣ニ於テ奥州線ニ連絡シ更ニ船川灣ニ至ル鐵道ノ敷設ハ當ニ東北地方ノ利便ヲ開クノミナラス對外通商上並軍事上最緊要ナルヲ以テ鐵道敷設法中ニ此ノ線路ヲ加ヘ速ニ施工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

郵便局設置ノ件

島根縣那賀郡木田村長佐々岡延藏呈出

右ノ請願ハ島根縣那賀郡木田村ハ郵便物ノ多數ナルニ拘ラス未タ郵便局ノ設置ヲ見ス爲ニ通信爲替貯金等ニ不便甚シキヲ以テ速ニ同村ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

種牛場増設ノ件

東京市下谷區二長町平民畜産業和田該輔外三名呈出

右ノ請願ハ我國ニ於テ種牛場ノ數僅ニ一二ニ止マルハ畜牛ノ蕃殖改良ヲ計ルニ適セス時代ノ要求ニ應スルコト能ハサルヲ以テ全國ニ於ケル畜牛分布ノ程度ニ鑑ミ適當ノ地ヲトシテ更ニ數箇ノ種牛場ヲ増設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

關稅定率改正ノ件

甲州葡萄酒栽培同業組合組長栗原信近呈出

右ノ請願ハ甲州葡萄酒釀造業ノ永ク振ハサルハ主トシテ日佛通商條約ニ依リ低率ナル關稅ノ下ニ外國產ノ葡萄酒ノ甚シク輸入セラルルニ歸因ス故ニ内國葡萄酒ノ生産ヲ保護セムカ爲之カ輸入稅率ハ明治四十一年法律第四號ヲ以テ定メラレタルモノヨリ降ルコトナキヤウ議決セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五

條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

黑澤尻横手間鐵道速成ノ件

巖手縣和賀郡黑澤尻町平民商伊藤治郎助外百二十三名呈出

右ノ請願ハ黑澤尻横手間奥羽橫斷鐵道ノ敷設ハ當ニ地方ノ利便ヲ開クノミナラス有利ナル數多ノ事業ヲ勃興セシメ延イテ東北地方ヲ振興セシムル所以ナルヲ以テ之カ工事著手ノ時期ヲ繰上ケ速ニ完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

區裁判所出張所設置ニ關スル件

青森縣北津輕郡中里村長丹野健司呈出

右ノ請願ハ青森縣北津輕郡中里村外二箇村ニ於ケル登記事務ハ同郡五所川原區裁判所金木出張所ノ管轄ニ屬スルモ距離遠ク不便甚シキヲ以テ該三箇村ノ登記事務ヲ處理スル爲中里村内ニ同區裁判所出張所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

郵便局設置ノ件

福島縣安積郡永盛村平民農伊東英助外五十九名呈出

右ノ請願ハ福島縣安積郡永盛村ハ近時農蠶ノ業大ニ發達シ戸口増加シ運輸交通頻繁ナルヲ以テ昨年同村ニ停車場ヲ新設セラレタリ然ルニ未タ郵便局ノ設ケナク不便甚シキヲ以テ同村笹川ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

鐵道敷設ニ關スル件

千葉縣安房郡北條町長加藤音城外四十一名呈出

右ノ請願ハ千葉縣安房郡ヲ一周スル鐵道ノ敷設ハ當ニ地方ノ利便ヲ開キ國家ノ收益ヲ増加スルノミナラス千葉木更津線及大原勝浦線ノ效用ヲ完ウスル所以ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

大船渡花卷間鐵道速成ノ件

巖手縣稗貫郡花卷川口町長松川他次郎外四十八名呈出

右ノ請願ハ大船渡花卷間ノ鐵道ノ敷設ハ當ニ東北地方ニ於ケル各種ノ產業ノ發達ヲ促スノミナラス國力ノ發展ニ資スルコト多大ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

宅地地價特別修正ノ件

北海道松前郡福山町平民雜貨商石岡庄八外百二十一名呈出

右ノ請願ハ北海道松前郡福山町ハ舊松前藩主ノ居城地ニシテ明治九年地價改定ノ際ハ尙繁盛ヲ極メシヲ以テ宅地地價モ同道中最高ノモノトセラレタリ然ルニ交通ノ不便ト連年海產物ノ減少トハ同町ヲシテ衰頹セシメ今ヤ町民ハ國費地方費ノ負擔ニ堪フル能ハサルニ至リタルカ故ニ特ニ現在ノ宅地地價ノ四分ノ一ノ限度ニ於テ地價修正ヲ行ハレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

金山早來間鐵道速成ノ件

北海道勇拂郡安平村平民商木呂子鉞彌外七百一十一名呈出

右ノ請願ハ北海道鐵道線金山早來間ノ鐵道ノ敷設ハ室蘭釧路間ノ捷路ヲ作リ沿道地方ニ於ケル鑛山業農業林業ヲ發達セシメ北海道ノ拓殖ニ緊要ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

鐵道敷設法ニ關スル件

新潟縣南魚沼郡石打村平民農岡村貢外三百二十二名呈出

右ノ請願ハ新潟縣長岡ヨリ群馬縣高崎ニ至ル上越鐵道ハ新潟東京間ノ捷路

ヲ作リ雷ニ地方ノ利便ヲ開クノミナラス農工商業ノ發達ヲ促進セシメ又軍事上重要ナルヲ以テ之ヲ鐵道敷設法中ニ追加セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

亞炭鑛業稅減額ノ件

愛知縣名古屋市東區東本重町士族尾張炭鑛株式會社社長布留川尙外一名呈出

右ノ請願ハ亞炭ノ鑛業稅ハ他ノ鑛物ノ鑛業稅ニ比シテ苛重ナルヲ以テ負擔ノ均衡ヲ保タシムル爲鑛業法ヲ改正シ亞炭ノ鑛產稅ヲ免除シ且其ノ採掘ニ付テハ鑛區稅ヲ現在額ノ三分ノ一トセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十三年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 請願委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、明日ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、今日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後三時十七分散會